

どんな10代を すごしたら、 なりたい大人に なれますか？

いま、10代留学。



短期

2018年派遣 応募要項

留学期間 2018年 7月～8月

公益財団法人AFS日本協会は「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム」を応援し、対象プログラムをご案内しております。

Connecting Lives, Sharing Cultures

人とつながる、世界と生きる。

目次

AFS短期派遣プログラム一覧	1
----------------	---

AFS短期派遣プログラム

AFSプログラムの特色	2
-------------	---

お申込みから出発まで	4
------------	---

トビタテ！留学JAPAN

日本代表プログラム 高校生コース	8
------------------	---

国別プログラム案内	9
-----------	---

参加者の声	24
-------	----

参加者の保護者より	25
-----------	----

AFS短期派遣プログラムQ&A	26
-----------------	----

参加費用について	27
----------	----

参加の取りやめについて/内定取消について	28
----------------------	----

AFS短期派遣プログラム申込書	29
-----------------	----

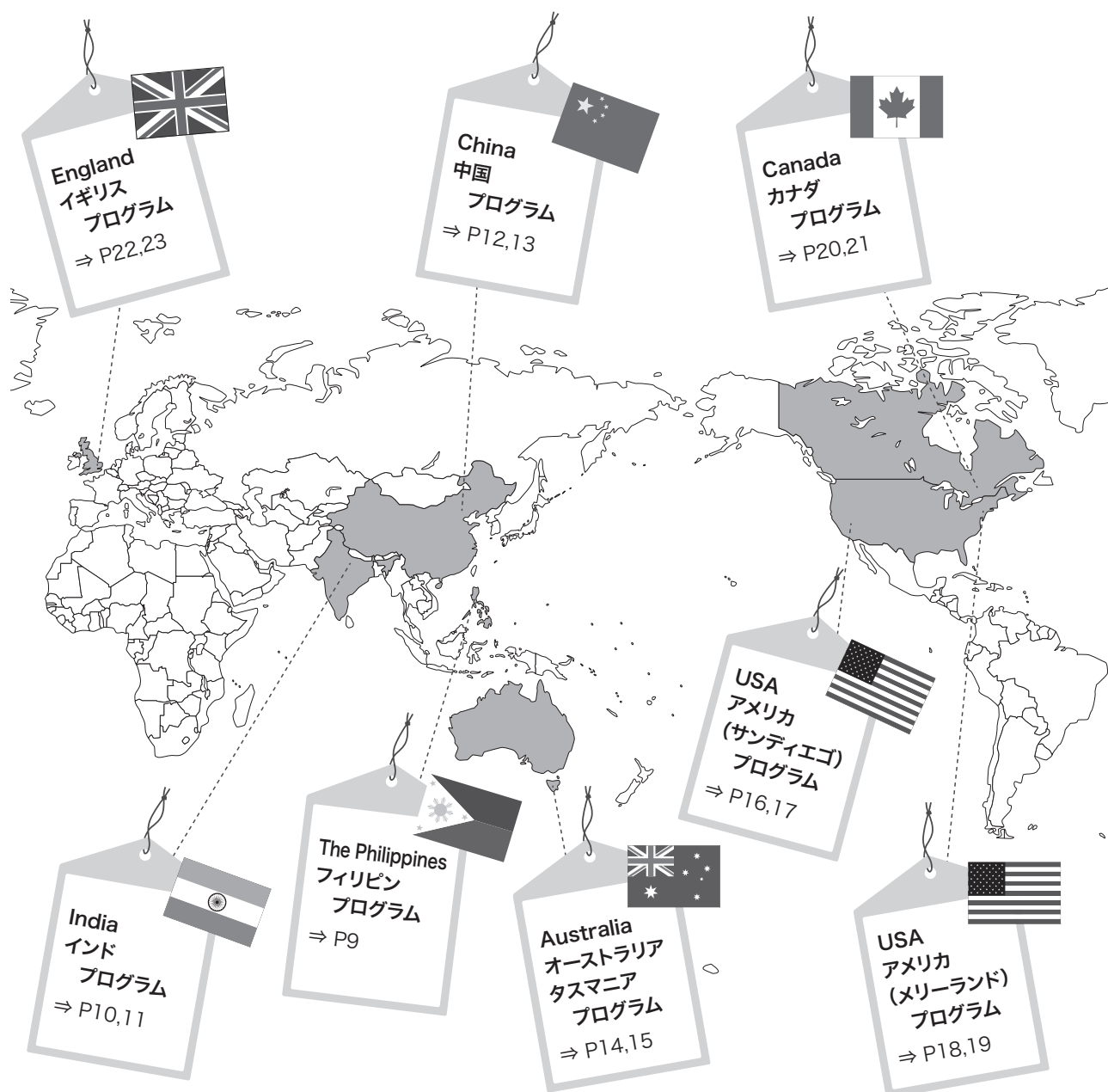
AFS短期派遣プログラム応募課題	31
------------------	----

参考資料

AFS短期派遣プログラム参加規程	33
------------------	----



AFS短期派遣プログラム一覧



派遣国	定員 (名)	プログラム期間	参加費用 (詳細はP27)	特 色	滞在形式	応募締切
フィリピン	5	2018年7月19日(木)～8月 1日(水)	398,000円	英語研修、農業体験	寮+ホームステイ	2018年4月30日(月)
インド	10	2018年7月14日(土)～8月17日(金)	442,000円	英語研修、文化研修	ホームステイ	2018年4月30日(月)
中国	5	2018年7月22日(日)～8月11日(土)	374,000円	英語による初級中国語、 文化研修、カントリーミックス	ホームステイ	2018年4月30日(月)
オーストラリア	10	2018年7月20日(金)～8月19日(日)	622,000円	英語研修、日本人向け	ホームステイ	2018年4月30日(月)
アメリカ サンディエゴ	10	2018年7月15日(日)～8月12日(日)	810,000円	英語研修、カントリーミックス	寮	2018年5月31日(木)
アメリカ メリーランド	15	2018年7月15日(日)～8月 5日(日)	695,000円	英語研修、カントリーミックス	寮	2018年5月31日(木)
カナダ	25	2018年7月14日(土)～8月12日(日)	678,000円	英語研修、カントリーミックス	ホームステイ	2018年4月30日(月)
イギリス	10	2018年7月29日(日)～8月12日(日)	485,000円	英語研修、カントリーミックス	寮	2018年4月30日(月)

※書類受付は **2018年1月4日(木)**より開始します。締切日前であってもすでに定員に達している場合は応募受付を終了いたします。

※対象年齢は各ページをご確認ください。

AFS短期派遣プログラム

AFSは、高校生の交換留学を主な活動とする、非営利で、特定の政治・宗教に偏らない民間の国際教育交流団体です。異文化体験と国際交流の幅広いニーズに応えるために、年間派遣プログラムで培った実績をもとに、1982年より語学研修や高校通学、文化研修を軸とした短期派遣プログラムを実施しています。特に近年では外部団体や教育機関と連携を図りながら、参加者のニーズにあわせたプログラムを提供しています。

AFSプログラムの特色

◆ 自立心・自主性を育てる

AFS独自の異文化体験を通して、参加生自らが考え、行動し、意思を伝える大切さを学ぶことが目的です。参加生は安全管理された大きな枠組みのなかで、他の参加生と協力しながら、積極的に参加、行動することを学びます。

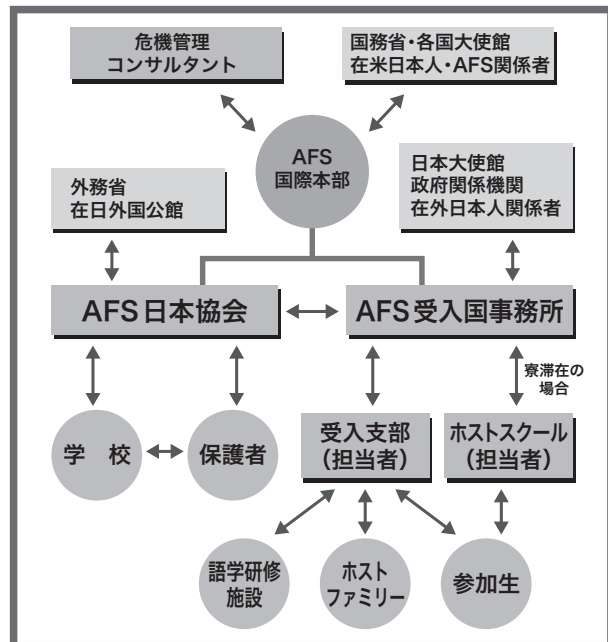
帰国後の変化 ～保護者の方より～

- 視野が狭く、型にはまった考え方にとらわれていましたが、柔軟性が出てきたように感じます。
- 家事をよく手伝ってくれるようになりました。
- 親や先生に頼らなくても自分の力でどうにかする自信がついたようです。
- 意思をはっきりと伝えるようになりました。
- 語学や多文化を理解することの大切さが理解できたようです。
- 英語に対する“壁”が低くなりました。
- いろいろな国の友達ができて、日本以外の国の情勢に興味を持ち始めました。

◆ AFSグローバルネットワーク全体で運営・サポート

サポート体制

AFSは世界約60の国・地域に活動拠点を置き、4万人以上のボランティアの支援のもとで、プログラムを実施しています。ホストファミリー（短期カナダプログラムを除く）、支部、相談員はすべてボランティアです。災害や事故、病気など緊急事態においては、職員とボランティアが連携して適切な処置がとれるよう、各国共通のガイドラインを定めて、24時間体制で対応にあたっています。



AFS100年の歴史

AFSの名は、第一次、第二次世界大戦中に、傷病兵の救護にあたったボランティア組織American Field Service（アメリカ野戦奉仕団）に由来しています。1914年、第一次世界大戦が勃発した時、パリにいたアメリカ青年たちが、自分たちも何かしたいと戦場から後方の病院へ傷病兵を輸送する活動を始めたのが発端でした。彼らは軍隊のかたわらで輸送車を運転し、担架で傷病兵を運び、120万人以上の傷病兵の救援に尽力しました。ナチス強制収容所解放にも約70名のAFSのボランティアが協力しています。

2回の大戦を経験したボランティアたちは、その経験と活動を通して、他国の人たちとともに働くことから、どれだけ多くのことを学んだか、お互いの違いを認めあい、尊重しあうことがいかに大切であるかに気づきました。

そして、悲惨な戦争の結果である傷病兵の救助活動よりも、「戦争を起こさない」という前向きな活動に取り組む決意をし、若者の留学制度を始めようという結論にいたりしました。そして、1947年にプログラムがスタートし、これまでに45万人以上が参加しています。

日本においては、1954年に8人の高校生が渡米したことから活動が始まりました。2004年には多年にわたる国際交流への貢献が認められ、文部科学省より「国際交流功労者文部科学大臣表彰」を受け、2011年には内閣府より認定され、公益財団法人AFS日本協会となりました。



AFSのサポートでよかった点は？

- 積極的にプログラムに参加する意識を高めるために事前の宿泊オリエンテーションが非常に効果的だった。
- 出国時、リーダーを決めて子供たちの団結や協力を促す方法は素晴らしいと思った。
- 日本側も受入国側も、本人の自主性を重んじた関与の仕方が適切だったと思う。大変楽しく、素晴らしい経験になった。かけがえのない友人もできた。
- 現地で問題が起こって相談したときにすぐに対応してくれた事がよかった。
- 日本側と受入国との相互間の連携がしっかりしていることで、安心して任せられた。

◆オリエンテーションの充実

出発前に1泊2日のオリエンテーションを実施します。オリエンテーションでは、AFSのプログラムについての説明や心構え、現地情報を共有するとともに、過年度参加生によるアドバイスも行います。

★オリエンテーションは参加必須です。指定された日程・会場に参加してください。(P6)

出発前オリエンテーション

「参加生同士が活発に交流し合い、1泊2日という短い時間であったにもかかわらず、別れを惜しみ帰国後再会することを約束するほどの強い絆で結ばれました。オリエンテーションでは、約1か月の留学をより有意義に過ごせるように留学の目的や意欲を高めるとともに、自ら積極的に行動することの大切さを、ディスカッションを通して学びました。レクリエーションでは、英語で日本の文化を説明するスキットを自分たちで考え発表しました。英語の得意不得意にかかわらず、一人ひとりが主体となって意見を出し合い、非常に完成度の高いものを作り上げることができました。」

(オリエンテーション担当の大学生ボランティアより)



～オリエンテーションに参加して～

- 同じ国に行く仲間との交流ができた。
- 留学への不安がなくなった。
- 先輩方に直接質問できたのがよかった！
- 他の国に行く仲間達の目標を聞きとても刺激を受け、留学へのモチベーションが上がった。

こんな人に向いているプログラムです



お申込みから出発まで

応募する

参加したい国・プログラムが決まったら、応募資格を確認し、応募書類を揃えたうえで、応募受付期間内にAFS日本協会まで書類を郵送してください。

応募資格

- 1) プログラム参加時点で日本の高等学校または中学校に在籍し、年齢が各受入国の定める基準をみたしていること。
- 2) 受入国に渡航可能な旅券を有するか、取得予定であること。
- 3) 留学先での生活に心身ともに適応できる資質のあること。また、通常の授業に毎日出席し、2017年度の欠席日数の合計が目安として15日以内であること。^(※1)
- 4) 「AFSの理念」(裏表紙の裏)に賛同し、受入国との相互理解に寄与すると共に、受入国の文化や言語を積極的に学ぼうとする姿勢があること。
- 5) イギリスは、実用英語技能検定2級、GTEC for Students L&R&W675、TOEIC®Listening&Reading550またはTOEIC Bridge®150以上の資格を保有していること。アメリカは実用英語技能検定準2級、GTEC for students L&R&W485、TOEIC® Listening&Reading400またはTOEIC Bridge®134以上の資格を有すること。その他の国は実用英検3級または同程度以上の英語資格を有すること。^(※2)
- 6) オリエンテーション(6月16日～6月17日東京)に必ず参加できること。

※1 欠席日数の合計は、登校しても全授業に出席しない日数を含みます。なお、けがや病気が完治し、留学生活に支障がない場合は考慮します。特にホームステイプログラムの場合、日常的な食品に重篤なアレルギーのある方、またペットと同居できない重症のペットアレルギーの方は応募を受け付けられない場合があります。詳細は国別ページ「配属制限」でご確認ください。

※2 上記以外の資格を有する方はお問い合わせください。また、資格試験を受験したことのない方は、イギリス・アメリカ以外であれば応募が可能です。ただし、応募者多数の場合は証明書のある方が優先となります。

応募書類

- 1) **AFS短期派遣プログラム申込書** (P29)
- 2) **応募課題** (P31)
全項目について、必ず申込者本人がご記入ください。
 1. AFSの短期派遣プログラムに参加しようと思った理由・参加にあたっての意気込み(日本語/400字程度)
 2. 未来のホストファミリー・友人たちへのメッセージ(英語)
 3. AFSの短期派遣プログラムで「吸収したいこと・期待すること」及び自分が「現地で出会った人にしてあげたいこと」

※記入の際は黒ボールペンを使用してください(修正液使用可)。

※ワープロ不可。

- 3) **英語能力証明書** (コピー)
応募資格の5) 及び※2をご確認ください。

- 4) **選考手数料の振込金受領証** (コピー)

・選考手数料：6,480円

・郵便振込口座番号 00130-5-610767 加入者名 AFSプログラム口座

銀行振込 ゆうちょ銀行〇一九店 当座 口座番号：0610767 加入者名：AFSプログラム口座

※同封の『払込取扱票』または郵便局・銀行備え付けの用紙をご利用ください。

ATM、インターネットバンキング等でお振込みされる場合は、応募者本人の氏名を依頼人・振込人としてください。名義変更ができない場合は、別途メールで振込内容(2018年短期の選考手数料)、振込日、応募者氏名をお知らせください。メールアドレス：info@afs.or.jp

※一旦お振込みいただいた選考手数料は事由のいかんにかかわらず払い戻しできません。

応募受付期間

選考は応募書類が到着した順に随時行います。締切日前であってもすでに定員に達している場合には応募受付を終了いたします。

募集状況はホームページ（<http://www.afs.or.jp/>）でご確認いただくか、お電話（03-6206-1913）でお問い合わせください。

	応募受付期間	選考結果の発送日
フィリピン	2018年1月4日（木）～4月30日（月）	応募書類送付後 約2週間
インド	2018年1月4日（木）～4月30日（月）	
中国	2018年1月4日（木）～4月30日（月）	
オーストラリア	2018年1月4日（木）～4月30日（月）	
アメリカ（サンディエゴ）	2018年1月4日（木）～5月31日（木）	
アメリカ（メリーランド）		
カナダ	2018年1月4日（木）～4月30日（月）	
イギリス	2018年1月4日（木）～4月30日（月）	

※定員に達しない場合は追加募集を行う可能性があります。追加募集情報はホームページをご覧ください。

応募書類送付先

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-22-14 ミツヤ虎ノ門ビル7F
公益財団法人AFS日本協会『短期派遣プログラム応募』係

一次選考結果通知・受入国が内定する

応募書類送付後2週間を目途に、一次選考結果および合格者には派遣内定国を郵送でお知らせします。本プログラムの選考で一度不合格になった方は、再受験はできません。

プログラム関係費（第一次金）を振り込む

一次選考結果通知の発行日より2週間以内に、プログラム関係費のうち10万円をお振込みください。

※参加を取りやめる場合は、期限内に必ずご連絡ください。期限を過ぎた場合、取りやめの時期により辞退金が発生します。（P28）

英文書類を作成・提出する

受入国での寮、ホストファミリー、研修施設・ホストスクールを決定するために、一次選考結果通知から約2週間で各種英文書類や英文の健康診断書を提出していただきます（オンラインで作成する書類があります）。詳細は一次選考に合格された方にご案内します。内定後の各種連絡は主にメールで行います。

※健康診断および英文健康診断書作成にかかる費用は自己負担になります。医療機関にもよりますが、10,000円程度かかります。

「受入国書類審査通過のお知らせ」（メール配信）を受け取る

提出していただいた英文書類をもとに受入国事務所が書類審査を行い、6月末までに「受入国書類審査のお知らせ」をご登録のメールアドレス宛にお送りします。

健康上あるいは家庭配属の制約事項が多いと受入国の審査に通過しないこともあります。

プログラム関係費（第二次金）を振り込む

「受入国書類審査通過のお知らせ」の送付日より2週間以内に、プログラム関係費の残金をお振込みください。
旅行代金は、指定の旅行代理店（※）との契約に基づき、指定日までに旅行代理店に直接お振込みください。

※2017年12月現在、（株）日本旅行を予定しています。

オリエンテーションに参加する

受入国による書類審査を通過された方を対象に、1泊2日でオリエンテーションを実施します。

参加者のオリエンテーションへの参加は必須です。欠席の場合は、プログラムにご参加いただけませんのでご注意ください。

〈参加者対象オリエンテーション〉（参加必須）

	日 時	場 所
東 京	6月16日（土）～6月17日（日）	国立オリンピック記念青少年総合センター（予定）

自己都合によるオリエンテーションの欠席・遅刻・早退は、原則としてお受けできません。

保護者の方を対象にしたオリエンテーションも実施します。参加は任意ですが、プログラムへの理解を深めるためにも、ぜひご参加ください。詳細は別途お知らせします。

〈保護者対象オリエンテーション〉（任意）

	日 時	場 所
東 京	6月16日（土）	国立オリンピック記念青少年総合センター（予定）

渡航手続きが始まる

5月中～下旬に当協会指定の旅行代理店（※）から、旅程および渡航手続きに関する案内が届きます。

※2017年12月現在、（株）日本旅行を予定しています。

ホストファミリーが決定する

（対象：オーストラリア、カナダ、インド、中国、フィリピン）

（7月上旬～出発前）

参加生とホストファミリーの双方が有意義な体験を送ることができるよう、参加生の英文書類をもとに受入国が慎重に組み合わせを考えます。配属作業には時間がかかりますので、ホストファミリーのお知らせは出発直前になる場合があります。特に英語圏ではホストファミリーの決定に時間を要し、出発直前のご連絡となることがほとんどです。また、一家庭に複数の参加生が配属される場合もありますので、予めご了承ください。

出発する

出発 7 ～ 10 日前には、指定の旅行代理店から旅程の最終案内が届きます。
グループで出発しますので、参加生は出発国際空港の指定された場所・時間に遅れないよう集合してください。
当協会および指定の旅行代理店から、渡航に関する説明・諸注意があります。**出発国際空港から現地空港まで、参加生のための渡航となり、日本からの引率は付きませんが**、出発空港では当協会や旅行会社のスタッフが出発を補佐し、経由地では各空港で現地のスタッフが緊急時に備えて待機します。

※自己都合による出発日の変更や中途帰国はできません。

帰国・帰国後交流会に参加する

日本到着後は、当協会指定の旅行代理店による点呼の後、流れ解散となります。後日、学生ボランティア主催の帰国後交流会が予定されていますので、ぜひご参加ください。

トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 高校生コース

平成30年度官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム 高校生コース」では、諸外国への留学に必要な費用の一部が奨学金として支給されます。

AFS短期派遣プログラム	トビタテ！留学JAPAN			
	分野名	応募対象	応募先	在学から受付センターへの提出締切
オーストラリア カナダ	アカデミック テイクオフ	高校生	在学を通して受付センターに提出。在学への提出期限は各自ご確認ください。	2018年2月 1日(木)
		新高校1年生		2018年4月26日(木)
アメリカ インド 中国 フィリピン	アカデミック ショート	高校生		2018年2月 1日(木)

※イギリスは指定期間に満たないため対象外

トビタテ！留学JAPAN 応募の流れ

ホームページから
「募集要項」と「留学計画書」を
ダウンロード
www.tobitate.mext.go.jp/hs/

在学との相談・留学計画書の作成

学校の先生への提出

並行して、AFSプログラムに応募してください。

***** トビタテ！留学JAPANについてよくある質問 *****

Q トビタテ！留学JAPANに応募すると、自動的にAFSプログラムに応募したことになりますか？

A AFSプログラムへの応募とトビタテ！留学JAPANへの応募は、組織および受付先が異なります。希望者は必ずそれぞれに応募してください。AFSプログラムに合格する前にトビタテ！留学JAPANに応募することも可能です。

Q 中学生は応募できますか？

A アカデミック・テイクオフは、2018年4月に新高校生となる中学生もご応募いただけます。アカデミック・ショートは、中等教育学校または併設型の中高一貫校などで4月以降の在籍校が決定している方に限り、ご応募いただけます。

Q AFSのオーストラリア/カナダプログラムは指定の留学期間を超えていませんか？

A トビタテ！留学JAPANの留学期間以外の現地滞在日数は前後併せて1週間程度が認められており、応募が可能であることを確認しています。

Q 応募すれば必ず奨学金がもらえますか？

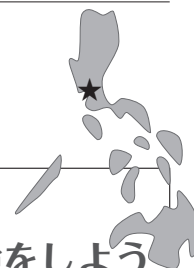
A トビタテ！留学JAPANは分野ごとに定員があり、書類および面接審査があります。平成29年度は、アカデミック・テイクオフ定員120名に対し542名、アカデミック・ショート定員100名に対し315名の応募がありました（文部科学省HPより）。AFS短期派遣プログラムでは過去にアメリカやインドの派遣生が受給した実績があります。なお、奨学金支給額は、応募分野、家計基準、行き先等によって異なりますのでトビタテ！留学JAPANの募集要項をご確認ください。

※トビタテ！留学JAPANに関するご質問は在学にお問合せください。

国別プログラム案内

NEW!

英語学習だけでなく、一味違う夏休みを送りたい方に最適。
フィリピンの歴史・文化を学びながら、英語学習と農業体験をしよう



フィリピンプログラム



期 間：2018年7月19日(木)～8月1日(水)

募集人数：5人

対 象：中学3年生・高校生

※渡航時に15歳0か月未満の方は査証手续が必要です。

プログラムの特徴

英語研修 農業体験 寮+ホームステイ

- ・他国のAFS生と一緒にマニラ近郊の寮施設に滞在しながら、合計30時間の英語学習プログラムを受講します。コース修了時には修了証を受け取ることができます。
- ・週末には2日間、地元のホストファミリー宅でホームステイを体験できます。家族の一員として出迎えられ、現地での生活を体感することができます。
- ・体験学習を含む合計7時間の農業学習を行います。プログラム修了時には修了証が用意されています。
- ・コレヒドール島への日帰り見学旅行等が計画されており、フィリピンの文化・歴史を学ぶことができます。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

到着時に英語レベルチェックテストが行われ、レベル別のクラスに分けられます。平日はマニラ近郊（マカティ市を予定）の教育施設の寮に滞在します。寮施設では他の参加生とのルームシェアとなります。他国AFSからも参加予定ですので、日本人以外の参加者との交流機会もあるでしょう。週末には2日間、現地のホストファミリー宅でホームステイ経験ができます。ホストファミリーはAFSの基準を満たしたボランティアで、参加生を家族の一員として迎えます。ホストファミリーは多様化しており、同居する子どもがいない家庭、両親とともに働いている家庭などに配属されることもあります。ホストファミリーの決定は慎重な配属作業を経て行われるため、決定時期が出発間際になる場合があります。

語学研修と農業体験

午前中は座学式での授業を受けます。午後は午前中に学んだ英語を実際に活用できるように、会話を中心としたアクティビティが用意されています。農業体験学習では、地元産業の中からテーマ（例：ピーナッツブレッド、ぬいぐるみ、ソーセージ、絹等）を選び、実際に体験をしながら現地の地元産業・農業について学習します。

その他の活動内容

方々はフィリピン文化を学ぶアクティビティもあります。現地高校生との交流機会も予定されています。また、コレヒドール島等、歴史・文化遺産の見学ツアーも計画されているため、平和学習の機会にも恵まれます。

参考

	月	火	水	木	金	土	日
午前	英語研修					ホストファミリーと過ごす	
午後	英語アクティビティ・フィリピン文化研修・農業学習・文化遺産見学等						

【アドバイス】

英語学習だけではないプラスαの経験ができます。寮滞在中は集団生活となりますので協調性、ホストファミリー宅滞在中は積極性が求められます。約2週間の短いプログラムですので、スタート時から積極的に参加しましょう。

参加費

プログラム関係費	300,000円
旅行代金	98,000円
合計	398,000円

フィリピンの一般情報

在日フィリピン大使館ホームページ

<https://tokyo.philembassy.net/ja/>

外務省ホームページ：フィリピン

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/philippines/index.html>

配属制限

菜食主義者や食事制限のある生徒の配属は困難です。熱帯性気候の国のため、虫刺されなどについて皮膚が弱い方の滞在は困難です。

※左記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。



インドの高校生の熱気を肌で感じながら、
英語と伝統文化を学ぼう

インドプログラム



期 間：2018年7月14日(土)～8月17日(金)

募集人数：10人

対 象：中学3年生・高校生(出発時点で17才6か月まで)

英語・文化研修 ホームステイ 年齢制限

プログラムの特徴

- ・インドの文化、歴史、伝統への理解を深める体験型プログラムです。人と違ったことがしてみたいというチャレンジ精神旺盛な方に最適です。
- ・デリーのホストファミリーに滞在しながら、市内の名門校で英語やインドの伝統文化を学びます。
- ・高校内で使用する言語はすべて英語です。英語に親しみながら、英語で自信をもってコミュニケーションをとる姿勢を身に付けることができます。
- ・ホストブラザー／ホストシスターが参加者のパティとなります。
- ・AFSイタリアからの参加があるので、イタリアの高校生との交流機会もあります。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

ホストファミリーはプログラム開催校が決定します。また、ホストファミリーはAFSの基準を満たしたボランティアで、参加生を家族の一員として迎えます。

ホームステイをしながら、デリー市内の名門校に通学します。ホストファミリーの宗教は60%がヒンドゥー教、20%がイスラム教、10%がキリスト教、10%がその他の宗教です。大半の家庭がベジタリアンで卵なども食べません。ホストファミリーの決定は、慎重な配属作業を経て行われるため、決定時期が出発間際になる場合があります。

語学研修

高校に通学しながら実践的な英語を学びます。また、インド文化、芸術、音楽にふれながら、語学力のさらなる向上をめざします。本場でヨガやインドのダンスなどの体験を通して、体も心もリフレッシュした毎日をすごせます。日本からの参加生は原則同じクラスで研修を受けますが、授業中は英語のみで会話をするよう指導を受けます。また、参加人数が5名を下回る場合には、AFSイタリアからの参加クラスと合同授業になります。学校の集会などで現地の生徒と交流する機会があります。

その他の活動内容

学校の奉仕活動への参加やダンスの発表会が開催されることがあります。インドの学校の授業は午後2時頃まで行い、その後各ホストファミリーへ戻ります。ホストファミリーとの外出は夕方以降の場合が多くなります。授業外の時間や週末を利用して、AFSインドが市内名所や博物館見学を計画します。また、タージ・マハルへの旅行が予定されています。

〈スケジュール例〉

時間割	8:00-9:00	9:00-10:40	10:40-11:10	11:10-11:30	11:30-12:30	12:30-13:50
参考						
内容	英文法	英語研修とアクティビティ	ゲーム	休憩	オーラル	ロールプレイ

(アドバイス)

チャレンジ精神旺盛な方の応募をお待ちしています。アジアの大国インドで英語を学びながらアジアの将来を考えてみましょう。インドの6～8月は雨季で気温も高いため、服装や体調管理に気をつけましょう。課外活動時には長袖の着用をおすすめします。

インドの一般情報

在日インド大使館ホームページ

<http://www.indembassy-tokyo.gov.in/>

外務省ホームページ：インド

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/india/>

配属制限

乳製品を多く摂取する家庭が多いため、乳製品へのアレルギーのある方は参加が難しくなります。



体験談



サリー、パンジャブドレスをはじめとする様々な伝統的な服を着させてもらった。どれも美しく、それらを着て外出するのが大好きだった。AFSの遠足では、デリーの観光とアーグラにあるタージマハルへ行った。貧富の差や格差を目の当たりにし、イタリア人の子と二人で車の中で大泣きしたこと、ホストシスターに毎日怒られながらも、彼女のおかげでインドのダンスを五百人ほどの生徒たちの前で発表できたことなど。たった1か月の滞在はそこで終わらず、今もつながっている。ホストファミリーやクラスメイトとはほとんど毎日チャットをする。担任の先生も英語で困ったら手伝うよと連絡を下さる。地図上の国のひとつであったインドとイタリアが急に身近になった。ラジオ・テレビ・学校の授業が生き生きと伝わってくるようになった。

里帰りレポート

ホストファミリーとは帰国後もSNSで頻繁に連絡を取り合っていました。今回インドに里帰りしたのは、「大学生になったら必ず里帰りする。」とホストファミリーと約束していたからです。AFSで短期留学をして以来、私はインドを第二の故郷だと思ふようになりました。今回の滞在中に、テレビ番組の制作に興味があるとインドの母に相談したら、今度映画製作コースを紹介してくれるそうです。また、インドの家族からはもっと頻繁に会いたいからインドの日本大使館に就職してほしいと（冗談交じりですが）言われました。それもありがたな思いました。インドという国は私のこれから先の人生に色々な影響を与えてくれると思いますし、私自身も積極的に関わり続けていくつもりです。(2014年インド派遣生)

→続きは「AFS 里帰り インド」で検索



参加国への印象

変わった！
100%

(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- インドの人は本当に親切で優しい人ばかりで、ホストファミリーの親戚など集まった時もたくさん話しかけてくれて、とても温かい人たちがたくさんいる国でした。
- 英語や、他の言語が話せるだけで、全然物の見え方が、変わるんだろうなと思いました。そのためにも、もっと頑張らなくてはいけないと感じました。

後輩へのメッセージ

- 行きたいという気持ちがあるなら絶対行くべきだと思います。高校生での経験はとても貴重だと思います。チャンスはいましかないので…。
- 全然違う世界が広がっています。だからこそ、毎日が新鮮で、驚きが沢山あり充実した1か月を過ごす事ができます！そして、何よりも親日家なインド人の優しさに沢山出会い、感動の毎日を、送れるはずです！

参加生に聞いてみた！こんな質問

Q ホームステイ先ではどんな食事が出ましたか？

- チャパティーと呼ばれるナンのようなものを、ダルと呼ばれるカレーのようなものにつけて、ヨーグルトと一緒に食べた。
- バラエティ豊富でした。カレーはあまり食べなかった気がします。
- ベジタリアンの家庭で、カレーにお肉が入ることはなかったのですが、様々な種類のカレーがあり飽きることがなく、インドカレー好きの私にとっては毎日食事が楽しみでした。

Q 自由時間は何をしておりましたか？

- ホストシスターにダンスを教えてもらった。
- 週末は大統領の家や寺院、ショッピングモールに連れて行ってもらった。
- パディと共に友達の誕生日パーティーに参加したり、ショッピングに行ったりした。

参加費

プログラム関係費	230,000円
旅行代金	212,000円
合計	442,000円

※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。

「サバイバル中国語」を使いながら
各国の高校生と中国の伝統・文化を体験しよう

中国プログラム



期 間：2018年7月22日(日)～8月11日(土)

募集人数：5人

対 象：中学3年生・高校生



プログラムの特徴

英語による初級中国語・文化研修 カントリーミックス ホームステイ

- ・一般的な中国語の語学研修とは異なり、日常生活に必要となる基本的で実践的な中国語を英語で学び、研修中に活用します。
- ・各国のAFS生約20名（2017年：イタリア、アメリカ、フランス、カナダなど）がプログラムに参加し、同じクラスとともに中国の文化・伝統を体験し、中国のことをより深く知るプログラムです。
- ・天津、鄭州または安徽の一般家庭に配属の可能性があります。
- ・アクティビティでの共通語は中国語と英語になりますので、基本的な英語力が求められます。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

天津、鄭州、安徽等でのホームステイとなります。アクティビティにはホストブラザーやホストシスターも一緒に参加します。ホストファミリーはAFSの基準を満たしたボランティアで、参加生を家族の一員として迎えます。ホストファミリーの決定は、慎重な配属作業を経て行われるため、決定時期が出発間際になる場合があります。

語学研修およびその他の活動内容

午前中は有資格の教師による中国語講座が開かれます。中国語の能力を高めるものではなく、中国で日常生活を送るために必要な会話を中心とした「サバイバル中国語」を学びます。午後のアクティビティでは、習字、水墨画、伝統武術、太極拳、調理実習、博物館見学などが予定されています。

参考

〈スケジュール例〉

参考	月	火	水	木	金	土	日
	午前	サバイバル中国語講座					ホストファミリーと 過ごす
	午後	中国文化・伝統体験					

（アドバイス）

「自分自身で体験してみて、テレビで見ていただけの中国とは大違いだとわかった」（イタリアからの参加者）

「想像を超えた体験をし、自分がもう中国の文化の一部に融合したようだった。第二の家族とたくさんの友人を得た」（イタリアからの参加者）

「素晴らしい体験をしたけれど、まだまだ未知の魅力がたくさんあるすごい国！」（アメリカからの参加者）

このプログラムは世界各国のAFS生が参加し、すでに何年も続いているものです。隣国の友人・中国の伝統文化をより深く理解できる機会になることでしょう。

中国の一般情報

中華人民共和国駐日本大使館ホームページ

<http://www.china-embassy.or.jp/jpn/>

外務省ホームページ：中華人民共和国

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/china/>

配属制限

配属家庭によっては小麦やナッツ類が比較的多く食卓に並ぶことがあります。



体験談

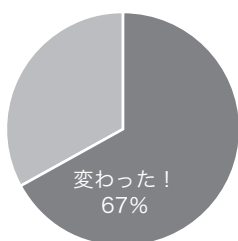


平日は現地の高校に通い、各国からのAFS生と授業を受けました。午前中は中国語の授業を英語で受けました。果物の名前や季節について、道案内など、簡単な単語を中心に、発音を重点的にゆっくり勉強しました。午後はホストシスター達と餃子を作って食べたり、習字をしたり、中国の伝統的な歌を歌ったりしました。私が1番中国らしくて好きなアクティビティーは太極拳でした。実際にやってみると一つ一つの動作がゆっくりでとても大変でしたが、中国の伝統や歴史を感じられるような武道を肌で感じられ、とても興味深かったです。中国人とは中国語で話し、イタリア人やドイツ人とは英語で話す3ヶ国語を混ぜた生活は、とても良い経験になりました。

私は、中国に行くこと、留学をすることは初めての体験で、行く前は少し不安を感じていました。ホームシックになったらどうしよう、と思っていましたが、ホストファミリーは、とても優しく、寂しさを忘れさせてくれるほど色々な所に連れてってもらってとても感謝しています。私が留学先で驚いたことは、鞍山市に住んでいる多くの方が、夕方6時ぐらいから9時まで公園に集まり、みんなでダンスを踊っていたことです。私もその踊りに参加しましたが、とても楽しかったです。私のホストシスターは、私のことをいつも公園に連れてってくれて、友人を紹介してくれました。その友人と夜ご飯を食べたり、楽しい時間を過ごしました。



参加国への印象



(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- 留学前に思っていたよりも、中国では日本のものが多く親しまれていた。
- 大体の人に英語が通じないので不安が強かったけど、現地の人はとても優しく、テレビでは中国のことを悪いように伝えているが、みんな自分の意思をちゃんと伝えればわかってくれるので、中国の文化の違いを理解して、不満ばかりぶつけるのではなくて説明することが大事だということを、日本人に知ってもらいたい。

後輩へのメッセージ

- 中国人は自分が思っているよりも思いやりがあり気さくで、とても話しやすいです。中国に行ったとしても英語は沢山使うので、両方勉強したら現地に行ってスムーズです。
- 周りからの不安な声も聞こえて来るかもしれませんが、それでも、自分で行くと思った留学を、思う存分楽しんで自分のものにしてきてください！
- このプログラムに参加している他国からきている留学生にたくさん話しかけてたくさん友達を作ってください！

参加生に聞いてみた！こんな質問

Q ホームステイ先ではどんな食事が出ましたか？

- 朝はお粥やマントー主食でおかずが2、3品、夕食はお粥主食でおかずが4、5品だった。
- 中国の北の方の料理がでた。餃子（前日の食べ物の残りをつめたもの）や蒸しパンが主に朝ごはんにでた。夜は魚や鶏など、肉類の焼いたものや、火鍋などで野菜をとったりしていた。

Q 課外授業で面白かったものは何ですか？

- 中国料理の作り方を教えてもらったのが面白かった。
- 午後の音楽の授業で中国の有名な茉莉花という曲をみんなで歌い、最終日の発表会で歌ったこと。
- 現地の鉄道博物館は、歴史的なことを含めて満州鉄道のこともあり、日本に関係する話が多くあった勉強になった。

参加費

プログラム関係費	260,000円
旅行代金	114,000円
合計	374,000円

※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。

自然豊かなタスマニアで、
日本の生徒のための特別プログラムに参加しよう

オーストラリア タスマニアプログラム



期 間：2018年7月20日(金)～8月19日(日)

募集人数：10人

対 象：中学3年生・高校生



プログラムの特徴

英語研修 日本人向け ホームステイ

- ・プログラムは現地の高等学校で実施されるため、通常授業を体験する機会にも恵まれます。
- ・日本人高校生のために特別に組まれたカリキュラムのため、英語研修は、原則として日本からの参加生のみのグループで行います。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。長年、本プログラムを担当しているベテランのボランティアがサポートします。
- ・英語の学習だけでなくオーストラリア、主にタスマニアの自然や文化に親しむプログラムです。
- ・通学時は基本的に日本の学校の制服を着用します。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

タスマニア州に滞在します。自然豊かなタスマニアは野生動物の宝庫で、風光明媚な景観が訪れる人々を魅了しています。また海沿いには歴史を感じさせる小さな街が連なります。ホストファミリーはAFSの基準を満たしたボランティアで、参加生を家族の一員として迎えます。ホストファミリーの年齢はさまざまで、子供のいない老夫婦やひとり親家庭の場合もあります。ホストファミリーの決定は、慎重な配属作業を経て行われるため、決定時期が出発間際になる場合があります。また、一家庭に日本からの参加生が複数滞在することもあります（配属に関するご希望は原則として承れません）。

語学研修

タスマニアの高校（2校を予定）で、日本からのAFS生のために準備された、会話を中心とした英語の授業を合計60時間（予定）受けて頂きます。授業は月曜日から金曜日まで行われます。英語を使ったロールプレイ、ゲームやクイズを盛り込んだ授業は毎年学生たちに人気です。

その他の活動内容

受入高校によって内容は異なりますが、高校の通常授業への参加体験、小旅行や近郊の農場見学、夕食会などのアクティビティが企画されています。

参考

〈スケジュール例〉

	月	火	水	木	金	土	日
午前	英語研修					ホストファミリーと過ごす	
午後	高校授業体験	高校授業体験	プレゼンテーション実践	スポーツ・調理実習	タスマニア歴史学習		

（アドバイス）

オーストラリアでは多くの高校が制服を採用しています。学校により日本の制服の着用を求められます。制服がない場合は、通学にふさわしい華美でない服装で参加してください。また、周りの教室では通常の授業が行われています。日本の代表としてマナーに気をつけ、有意義な異文化交流を楽しんでください。プログラム期間の現地は冬で気温が低いので、暖かい服装が必要となります。

オーストラリアの一般情報

在日オーストラリア大使館ホームページ

<http://www.australia.or.jp>

外務省ホームページ：オーストラリア連邦

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/australia/>

配属制限

卵や牛乳などオーストラリアの日常的な食品に重度のアレルギーがある方は応募ができません。また99%の家庭が室内ペットを飼っていますので、動物に対するアレルギーがあり、ペットとの同居が困難な場合には応募を受け付けられない場合があります。

体験談

AFS短期留学体験談

検索



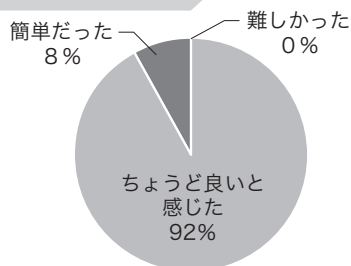
僕のホストファミリーはジョークが好きで面白いファザー、いつも自分に対して優しく接してくれるマザー、そして明るく気軽に話しかけてくれる二人のブラザーでした。最初のころはホストファミリーが言っていることが聞き取れなかったり、自分の英語の発音の悪さや文法の違いなどで相手に聞き取ってもらうことが出来ずとても苦労しました。しかし毎日頑張って英語を話し続けた結果、気軽に会話をするできるようになりました。

僕はホストファミリーと毎日楽しく過ごしました。休日は家族みんなでサイクリングをしたり、学校の体育館で他のホストファミリーとバドミントンをしたり、洞窟に行ったりしました。様々な体験をする中でホストファミリーとの間に自然と会話が生まれ、良い関係を築くことが出来ました。また近いうちにもう一度タスマニアに帰りたいです。

私が通ったDevonport高校はJapaneseやJapanese Historyの授業があり日本に関心のある生徒が多く、最後の授業では現地の先生と話し合い私が先生となって習字と折り紙の授業をさせてもらいました。日本語の挨拶をしてくれる人もいて、とても嬉しかったです。学校では曜日ごとにパディがつきパディと一緒に数学や英語、美術などの現地の授業を受けました。難しい内容もありましたが、パディが丁寧に分からない所を教えてくださいましたし先生も私達にも分かるように様々な配慮をしてくださいました。現地の方々はとてもフレンドリーで優しく私の拙い英語を最後まで何回も聞き返して聞いてくださり何度もその優しさに救われました。1か月間を通して英語はもちろんの事、沢山の優しさに出会い、自分から何かを発信することの大切さ、感謝する心を学んだように思います。



研修の難易度



(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- ・自然な受け答えや、外国人らしい表情や相づちがうてるようになった。
- ・タスマニアの動物について学んだり、課外活動で訪れる場所の歴史を学んだりしたのでタスマニアについて詳しくなった。
- ・タスマニアについてすぐは英語に自信が無く黙ってばかりでしたが、黙っていたら誰も話しかけてはくれないので、自分から動く事の大切を知り、この語学研修を通して自分からアクションを起こせるようになった。

後輩へのメッセージ

- ・最初は英語がちゃんと伝わるか不安だと思う。だけど根気よく頑張って話せば相手も理解してくれます。1か月は本当にあっという間に過ぎるので一日一日を大切に、留学を楽しんでください。
- ・タスマニアは自然豊かで食べ物も最高！貴重な体験がたくさんできます！英語に自信のない人でも大丈夫！現地の人がサポートしてくれます！楽しんでください！
- ・私は行ってからより帰ってからのほうが少しホームシックになりました。そのくらいホストファミリーもやさしく、とても楽しい1か月間を送ることができました。
- ・留学に行くか迷っている方がいれば、ぜひ勇気を出して留学に挑戦してみてください。勇気を出して1か月間留学をしたら、今まで見た事も無かったような世界が広がっていると思います。

参加生に聞いてみた！こんな質問

Q 印象に残ったことは何ですか？

- ・夜ご飯の時間に、皆で大笑いしたこと。すごく小さいことだったけど、皆で一緒に共通のことであそこまで大笑いできたのはとても楽しかったし嬉しかった。
- ・星や海など日本ではなかなか見られないものをたくさん見せてもらったこと。
- ・現地の子と一緒に同じ授業を受けたことが新鮮で面白かった。
- ・毎週金曜日に行われた小旅行！現地の学生と一緒にタスマニアの名所を回れてとても楽しかった。

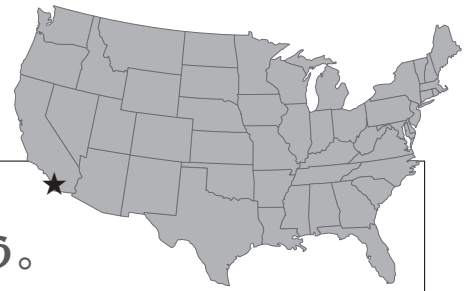
Q 週末はどのように過ごしましたか？

- ・毎週家族全員でどこかへ連れてってくれた。コアラを触ったりウォンバットを抱っこしたり、オーストラリアでしか出来ないことをたくさんさせてくれた。
- ・ホストファミリーとサーフィンやブッシュウォークに出かけたり、チョコレート祭りやオーストラリアンフットボールを観に行ったり。
- ・タスマニアは自然豊かな場所なので、山や川、滝、丘など名所にホストファミリーが連れて行ってくれた。

参加費

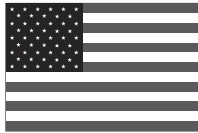
プログラム関係費	410,000円
旅行代金	212,000円
合計	622,000円

※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。



海外の大学進学を考えている方に最適！
英語を学びながらキャンパスライフを体験しよう。

アメリカ(サンディエゴ)プログラム



期 間：2018年7月15日(日)～8月12日(日)
募集人数：10人
対 象：中学3年生・高校生

プログラムの特徴

英語研修 カントリーミックス 寮滞在

- ・他国のAFS生と一緒に名門カリフォルニア大学サンディエゴ校の寮に滞在します（ルームメートの配属は現地到着後に発表されます）。自分のことは自分でする自立性が求められます。
- ・アメリカや海外の大学進学を考えている方には、体験型プログラムとして最適です。
- ・1日3時間の英語のレッスンに加え、学んだ英語を使用した実践的なアクティビティが毎日計画されています。
- ・『AFS Global Prep Program』として、21世紀グローバル・シティズン（地球市民）を目指すプログラムです。
- ・キャンパス内に24時間体制のAFSサポート窓口が設けられます。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

カリフォルニア大学サンディエゴ校の寮に滞在します。イタリアをはじめとする各国のAFS生（アメリカ、カナダ、イタリア、ドイツ、アルゼンチン、中国など）約60名と部屋をシェアしながら集団生活をして頂きますので、自主性と協調性が求められます。寮にはランドリールームや共同スペースも完備されています。また、寮の各部屋には、ベッドリネンが用意されています。

語学研修およびその他の活動内容

英語研修は大学施設の一部で行われます。教材は到着後配布され、参加者はそれぞれのレベルに配慮の上、1日3時間の英語授業に参加します。また、週ごとのテーマに沿った授業を受けます（予定されるテーマ：環境・芸術・時事問題・ポップカルチャー）。上級クラスではプレゼンテーションやディスカッションが中心です。プログラム終了時には、英語プログラム参加修了証を受け取ることができます。午後や夕方には、英語プログラム同様のテーマに沿って、様々な活動（例：野球観戦、芸術鑑賞、エコ活動等）に参加し、午前中の授業で学んだ語学力を実践で活かして頂きます。ビーチでの活動があるので水着が必要です。ロサンゼルスへの一泊旅行（遊園地等予定）が予定されています。

〈平日のスケジュール例〉

参考	時間割	8:00-8:45	9:00-12:00	12:15-13:00	13:00-18:00	18:00-18:45	19:00
	内容	朝食	英語研修	昼食	実践活動	夕食	自習又は会話実習

〈休日のスケジュール例〉

時間割	9:15-10:00	10:00-18:00	18:00-19:00	19:00-
内容	朝食	課外活動他、昼食	夕食	自由時間

【アドバイス】

校内では、インターネットに接続が可能です。AFS-USA のルールを守って使用してください。キャンパス内にあるスイミングプール、スポーツ施設、図書館などが利用可能です。大学施設を使用できるのでアカデミックな環境で生活ができます。同じ国の生徒同士で固まりがちですが、グループディスカッションや活動を通して各国に友人をつくるチャンスですので、日本人同士でも日本語での会話は避け、他国のAFS生たちともどんどん仲良くなりましょう。

アメリカの一般情報

在日米国大使館ホームページ

<http://japanese.japan.usembassy.gov/>

外務省ホームページ：アメリカ合衆国

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/>

体験談

AFS短期留学体験談

検索

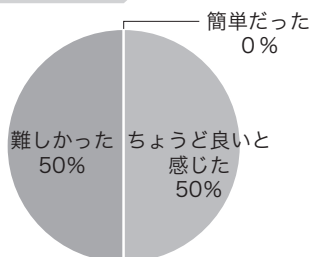


私たちは約1か月間、アメリカ、カリフォルニア州南端のサンディエゴにある、UCSDの寮に滞在していました。午前中は授業が行われ、午後はアクティビティの時間、夕ご飯を食べてから夜にはディスカッションや国別のプレゼンテーションなどの企画が行われました。そして就寝前には、スイートタイムと言って同じ部屋の友達と談笑する時間もありました。とても充実した日々を送っていました。私の生きてきた18年間で最も濃い1か月であったことは間違いありません。最終日の夜のスイートルームで、毛糸玉を1人ずつキャッチしてプログラムの思い出を語っていった。「離れていてもみんな繋がっている」そう最後にスタッフが言った時は感動しました。

特に印象的だった授業は「音楽」の授業。先生がだれもが知っている流行りの音楽を流してくれて、その音楽を聴いて踊ったり歌ったりしたらいけないというものでした。ほとんどの日本人にとって音楽を静止した状態で聞くのは当たり前なのに、国によって音楽の聞き方でさえ違うことにとても驚きました！！2週間目の後半には、Talent showという自分の特技を発表する機会がありました。日本人8人でソーラン節を、私1人では少林寺拳法を披露しました。すると、それを機に「僕もカンフーやってるよ」「私のお父さんがテコンドー習ってたよ」と声を掛けてくれる子が増えました。まさかMartial Arts(武道)で世界の友達と繋がることができるとは！！今回の留学で本当に本当に素敵な世界中の友達ができました。



研修の難易度



(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- 使える英語の数が増え、また早いスピードの英語がより聞き取れるようになった。
- 発表する機会が多かったため、人前で緊張せずに発表する力がついた。
- アメリカ以外の国の人の英語も、聞き取れるようになった。
- 自分の考えをハッキリと言えるようになった。特にイエスかノーかの判断が早くなった。
- 世界史の時間では、友達の国だ！などと今まで以上に興味や関心をもてるようになった。さらに、将来世界と関わる仕事につけたらいいなと少しの夢をもつことができた。

後輩へのメッセージ

- 4週間がこんなにあっという間だということを思い知らされると思います。私は最初、シャイで全く話しかけられなかったけど、いつの間にか周りの雰囲気になじめ、最後の2週間は別人のようになり本当にたくさんの子たちと話せるようになっていました。自分を変えたいなら自分から変わるしかない！！
- 日本人で固まり、日本語を使う様な事態は避けてください。僕らも伝えられない事が多く困りましたが、他の国の友達も僕たちを理解しようと頑張ってくれていました。そのぶん、理解し合えた時の感動は大きいものでした。諦めずに頑張ってください！！

参加生に聞いてみた！こんな質問

Q どんな内容の語学研修が行われましたか？

- 午前中は英語でアメリカのポップカルチャーや有名人、音楽、環境問題、いじめ問題、などについて話を聞いたり動画を見たりディスカッションをしました。午後は、英語を使って友達と会話をしながら美術鑑賞したり、海へ行ったり毎日色々なアクティビティをしました。
- 英語だけを学ぶだけでなく、英語を使ってグローバルイシュー（国際問題）についての討論やサンディエゴの観光地や、関わりの深い有名人などの紹介など行いました。日本ではあまり馴染みのない問題も多く難しかったですがとてもためになりました。

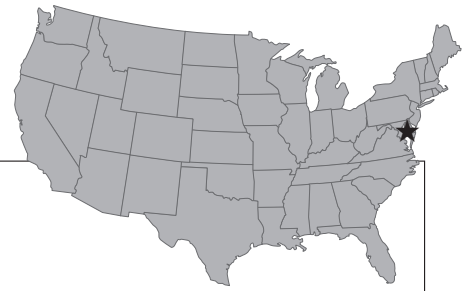
Q 課外授業で面白かったことは何ですか？

- ビーチでのごみ拾い。午後は海で遊んだり、ビーチで音楽を聴きながら寝たりしたこと。
- Food Bank。りんごを5〜7個詰めるだけの単純作業だったが楽しかった。
- メキシコのボーダーラインへ行ったこと。アメリカの社会問題を間近で見て感じて、あの時に感じた色々な思いは忘れられない。
- LAトリップやサンディエゴ動物園に行ったこと。メジャーリーグ観戦が楽しかった。

参加費

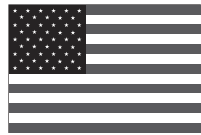
プログラム関係費	600,000円
旅行代金	210,000円
合計	810,000円

※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。



世界のAFS生と交流しながら、
真剣に英語力を伸ばしたい方へ

アメリカ(メリーランド)プログラム



期 間：2018年7月15日(日)～8月5日(日)

募集人数：15人

対 象：中学3年生・高校生

英語研修 カントリーミックス 寮滞在

プログラムの特徴

- ・各国から参加する高校生と一緒にワシントンDCエリアの名門大学キャンパスにてSandy Spring Friends School (SSFS) が企画・運営するSummer Immersion Program (SIP) に参加します。同年代の各国の高校生と生活を共にすることで、自主性や協調性が身に付きます。
- ・1日約3時間以上・週15～18時間の英語集中のレッスンに加え、実践の活動が毎日計画されています。
- ・『AFS Global Prep Program』のひとつとして、21世紀グローバル・シティズン(地球市民)を目指すプログラムです。
- ・現地ではAFSとSSFSのスタッフが24時間体制で参加者のサポートにあたります。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

首都ワシントンDCエリアに位置する名門大学の寮に滞在します。AFS生以外にもイタリアをはじめとするさまざまな国(イタリア、インド、ドイツ、香港、ドミニカなど)から集まった同年代の高校生たちと部屋をシェアしながらの集団生活となります。英語力向上の観点から、なるべく同じ国の生徒同士のルームシェアは避けるよう調整されています。

語学研修およびその他の活動内容

教材は到着後配布され、それぞれのレベルに配慮の上、大学施設内で英語の授業を受けます。アメリカ史、アメリカ政治、グローバルな視点を身に付ける授業に重きが置かれており、さまざまなテーマに関するディスカッションを行い、グローバル・シティズンとしての資質を培います。上級クラスでは、英語でのプレゼンテーション、ディスカッションなどが中心です。プログラム終了後には、英語プログラム参加修了証を受け取ることができます。午後や夕方には、英語プログラム同様のテーマに沿って、さまざまな活動(例：スポーツ、芸術鑑賞等)に参加し、午前中の授業で学んだ語学力を実践で活かしていただきます。また、ワシントンDCやニューヨークなどへのフィールドトリップが企画されています。

<平日のスケジュール例>

時間割	8:00	9:00-13:00	13:00-14:00	15:00-17:00	18:00-	19:00-
内容	朝食	英語研修	昼食	実践活動	夕食	自習

<休日のスケジュール例>

時間割	10:00-11:00	11:00-17:00	17:00-19:00	19:00-
内容	ランチ	課外活動 小旅行など	夕食	自習

参考

(アドバイス)

慣れないうちはどうしても同じ国の生徒同士で固まりがちです。世界に友達をつくるチャンスですので、授業中は日本人同士でも日本語での会話は避け、他国の参加生たちともどんどん仲良くなりましょう。

アメリカの一般情報

在日米国大使館ホームページ

<http://japanese.japan.usembassy.gov/>

外務省ホームページ：アメリカ合衆国

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/usa/>

体験談

AFS短期留学体験談

検索

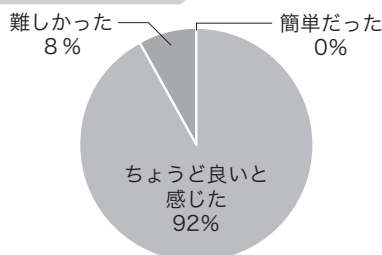


プログラムには中国、韓国、ドイツ、イタリア、グアテマラ、ガーナという多くの国の人たちがいました。一番楽しかったのは食事です。日本のアニメや施設、食や学校など様々なことを話し、逆にほかの国の情報を聞き、以前までの外国人への先入観が、半分くらい消えました。特に仲が良く、同じ部屋にもなったイタリア人の男の子は、日本の全てが大好きで、よく漢字の意味や、アニメのポーズなどを聞いてきてくれました。最後に渡した日本文化写真付きの葉書には、大変喜んでもらいました。いつか必ず日本に行くと言ってくれた時は、泣きそうなくらいうれしかったです。来るときは連絡を取り合って、再会する予定です。

このプログラムを通し、様々なカルチャーショックや、文化的な違いを経験した。また、国、地域によって考え方や価値観の違いを知ることができた。四六時中英語を使うという環境で4週間過ごしたことで、私の英語能力は飛躍的な上昇を遂げ、それだけでなく、文化圏の違う人々とのコミュニケーションをとる方法も習得した。さらに、このプログラムには様々な国、地域からやってきた同年代の学生たちが集まっていたため、私は世界中に大切な仲間を作ることができた。例えば、私が一番仲良くなったのは、香港からやってきた同い年の女の子だ。彼女とは、互いの国の話をしたり、言葉を教えあったりして友情を深めあった。最後の別れの時には、別れるのが辛くて号泣するほどだった。ここで得た友情は、一生続くものとなるであろう。



研修の難易度



(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- 英語を学ぶという内容の授業というよりは英語を使っているなことを学ぶというものだったので英語で何かを考えるということが前よりできるようになった。
- アメリカの地理や州についての社会科のような授業とエッセイやスピーチを書いて発表する授業、リーダーシップや異文化交流について学ぶ授業の中で積極的に発言できるようになったし、英語で文章を書く力がついた。
- 海外の学生とたくさん話したことで自信がつき、また英語を勉強することへのモチベーションが上がった。

後輩へのメッセージ

- 初めの数日は環境に慣れず大変なこともあるかもしれませんが始まってしまえば4週間は本当にあっという間です。私にとっては1か月前に戻ってもう一回初めからやりたいと思うくらい毎日が充実していて楽しい本当に貴重な体験でした。あまり気負わずにとりあえず楽しもうと思って一歩を踏み出してみてください。きっと素敵な経験ができると思います。
- 1か月という短い間だけれどその中でできた友達はかけがえない友達になると思うので、いろいろな人と話すことが一番大切だと思います。
- 「とりあえずポイントだけ押さえられたら上々！」くらいの気持ちで望むと不思議と聞き取れるようになる。そしてリスニングに自信がない人は誰よりも前の席を目指して座って。

参加生に聞いてみた！こんな質問

Q 課外授業で面白かったことは何ですか？

- グループ対抗で行うゲーム大会が楽しかった。屋外で水風船を投げて水遊びをしたりキャンプファイヤーをした時に他国の生徒との距離が縮まったなと感じた。
- アドベンチャーパーク。木の上にロープと木でできたアスレチックのようなものがあり、難易度別にコースが分かれていて面白かった。
- ニューヨークトリップ！

Q 寮での共同生活はどうでしたか？

- 文化の違いはやはり感じた。一緒に生活する上で避けては通れない道だが、日本人からしてみたら考えられないこともその国のひとにとってみれば当たり前である場合があるので、文化のちがいを拒絶するのではなく理解する努力をすべきなのだなと感じた。
- ルームメイトとは一緒に過ごしている時間が長いので一緒に勉強したり、お互いの部屋を行き来したりしたことが楽しかった。
- 英語の発音がその国特有のなまりがあり、聞き取りにくいことはあったが、お互いの国のことを話したり一緒に授業を受けたりするのが楽しかった。

参加費

プログラム関係費	490,000円
旅行代金	205,000円
合計	695,000円

※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。

多文化・多民族の国／カナダで、
世界の高校生とともに英語を学ぼう

カナダプログラム



期 間：2018年7月14日(土)～8月12日(日)

募集人数：25人

対 象：中学3年生(出発時点で満15歳以上)・高校生



プログラムの特徴

英語研修 カントリーミックス ホームステイ 年齢制限

- ・日本以外の国からのAFS生も参加し、レベル別のクラスで一緒に英語研修を受けます。
- ・基本的に同じホストファミリーに他国からのAFS生（アルゼンチン、イタリア、コロンビア、ドイツ、香港など）と一緒に滞在しますので、家庭内でも異文化交流の機会に恵まれるでしょう。
- ・プログラムの企画・運営は、受入国AFSやAFSが提携している教育機関が担当します。現地でサポートにあたるのも日本人ではなく、現地AFSスタッフです。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

オンタリオ州、ケベック州、ノバスコシア州に配属の可能性があります。ケベック州は英語、仏語共に公用語ですが、ホストファミリーを含む全てのAFSプログラムでは英語を用います。多民族の国ですので、アジア系、アフリカ系などさまざまな民族の家庭に配属され、カナダの多様性を体験できるでしょう。また、同居する子どもがいないひとり親（ホストマザーまたはホストファザーのみ）の家庭、両親とも働いている家庭などに配属されることもあります。1家庭にできるだけ同じ国の生徒同士が配属されないように調整されています。ホストファミリーの決定は、慎重な配属作業を経て行われるため、決定時期が出発間際になる場合があります。

語学研修

他国（アルゼンチン、イタリア、コロンビア、ドイツ、香港など）やカナダのフランス語圏から英語を学びに来ているAFS生約60名と一緒に提携語学学校の施設で研修を受けて頂きます。到着時にレベルチェックテストが行われ、レベル別のクラスに分けられます。授業は午前中に行われ、講義形式ではなくディスカッションやプレゼンテーション等、生徒の自主性や興味を尊重した、双方向・対話式の授業が計画されています。

その他の活動内容

午後は配属地域により市内近郊の観光、施設見学やハイキングなども予定しています。また配属地域により各国からカナダに留学しているAFS生、ホストファミリー、ボランティアとの交流行事も予定されています。

参考

〈スケジュール例〉

	月	火	水	木	金	土	日
午前	英語研修					ホストファミリーと過ごす	
午後	アクティビティ	博物館見学	ビーチ アクティビティ	Tea Party (お茶会)	市庁、教会 見学		

〈アドバイス〉

カナダのフランス語圏から英語を学びに来ているAFS生や各国のAFS生と一緒に授業を受けます。日本人とその他の国からの参加者との比率は、配属地域によって様々ですが、世界に友達をつくるチャンスですので、授業中は日本人同士でも日本語での会話は避け、他国の参加者たちともどんどん仲良くなってください。

カナダの一般情報

在日カナダ大使館ホームページ

<http://www.canadainternational.gc.ca/japan-japon/index.aspx?lang=jpn>

外務省ホームページ：カナダ

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/canada/>

配属制限

多くの家でペットを飼っていますので、動物アレルギーがあり、ペットとの同居が困難な場合には応募を受け付けられない場合があります。ベジタリアンなど、食事の制約に対応できる家庭を見つけることも困難です。

体験談

AFS短期留学体験談

検索

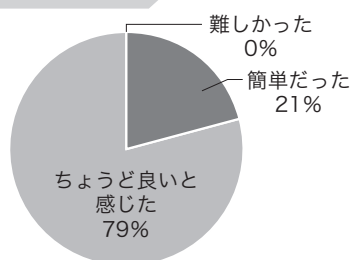


ルームメイトでイタリアの女の子Giuliettaは陽気で面白くいつも2人で爆笑していました。ホストファミリーは私たち2人のことを君たちは本当の娘だし大好きだよと言って、いつも優しくしてくれました。土日になると湖やBanff国立公園、キャンプなどたくさんのところに連れて行ってくれました。夜の9時過ぎから出かけてアイスクリームを食べに行くのも珍しくはありませんでした。カナダは日が長く近所に住む同じAFSで参加しているイタリア人と日本人の男の子たちといつもボールなどで夜まで遊んでいました。また放課後は友達とモールやスポーツセンターに行ったりなど毎日思う存分楽しみました。今の私の夢はイタリア、ドイツ、カナダにいる友達と家族に会いに行くことです。

学校は、毎朝9時から始まり英語のプリントや単語の発音、リスニングをしました。初日にクラス分けテストを行い、アイスブレイキングをしてクラスの仲を深めました。最初は名前を覚える事が大変でしたが、毎日一緒に勉強して、登校していると自然とあっという間に覚えて仲良くなっていたように思えます。アクティビティでは、リムジンバスに乗ってSylvan lakeに行き極寒の中泳ぎました。夏とはいえカナダの気候は涼しく朝は12度の事が多く、半袖短パンではブルブル震えるほどでした。アクティビティは友達と仲を深める良い機会でした。ケベック州から来た子とドイツ人の女の子と話す事が多く、本当に日本の友達のように頼りになって、信頼できる大事な友達となりました。



研修の難易度



(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- 英語でプレゼンテーションをすることが多く、資料の作り方や英単語の意味を英語で説明すること、つなぎ言葉を使うことが得意になった。
- リスニング能力が向上し、また、自分の言いたいところがすぐ英語で以前よりすぐ言えるようになった。
- あやふやにしがちな文法をもう一度しっかりと学びなおすことができ、より積極的に発言することができるようになった。
- 英語圏に限らずもっと広く世界に興味を持った。

後輩へのメッセージ

- 何事にも自分から挑戦する意欲が大切です。一歩踏み出す勇気を持てば必ず世界は開けます。1か月という短い時間を大切に頑張ってください。
- 吸収できることは全部吸収すればいくらかでも成長できるから可能性を広げていこう！
- もし、少しでも留学に興味があるのなら、ためらわずに行ってみることが大事だと思います！行ってみたら、本当に自分の人生の中で最高の経験ができ、異文化を知ることにより、何事も柔軟になることができます！楽しいことも辛いこともあるけれど、どれも最高の思い出になります。

参加生に聞いてみた！こんな質問

Q プログラムの中で印象に残ったことは何ですか？

- ガーデンパーティー。浴衣を着て行ったら色々な人に声をかけてもらえたこと。
- Banffという山に登ったこと。眺めがとても綺麗で一生忘れられない良い思い出になった。
- Sylvan lakeで寒い中泳いだことや、whale watchingでイルカやクジラを近くで見たこと。
- 街のツアーでは、その街の歴史や文化に触れることができて面白かった。

Q 日本についてどんな文化紹介をしましたか？

- 夏祭りやお花見などの四季様々な行事について。
- 「いただきます」の意味や、食文化を紹介した。
- お好み焼きを作った。
- 浴衣を着て、けん玉を披露した。
- ホストファミリーからは日本の歴史や政治について聞かれた。

参加費

プログラム関係費	420,000円
旅行代金	258,000円
合計	678,000円

※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。

英語力にさらに磨きをかけ、各国の高校生と
ワークショップを通して異文化理解について学ぼう

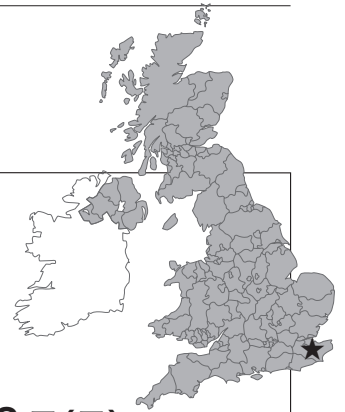
イギリスプログラム



期 間：2018年7月29日(日)～8月12日(日)

募集人数：10人

対 象：中学3年生・高校生



プログラムの特徴

英語研修 カントリーミックス 寮滞在

- ・イギリスを会場に、各国（例：ベルギー、オーストリア、アイスランド、フィンランド、トルコ、中国、香港、インド他）の30名程度の高校生とベルギーの非営利組織Roeland主催の「異文化理解サマーキャンプ（Intercultural Summer Camp）」に参加します。
- ・英語でのコミュニケーション能力を磨きたい人向けのプログラムです。参加者には英語でのコミュニケーション力が求められます。
- ・英語研修の他、異文化理解ワークショップや各種アクティビティが予定されており、自分の意志を英語で伝え、英語を通じてさらに何かを学ぶ創造力を育てるプログラムです。
- ・2週間の短いプログラムですので、スタート時から積極的に参加してください。
- ・中学3年生からの参加も可能ですが、他国からの参加生は高校生が中心です。

配属の傾向

ケント州メイドストーンのサットン・バランス高校を会場として、1人または2人部屋での寮生活をして頂きます。欧州やアジア、中南米など各国から計30名ほどの AFS生が参加します。本プログラムはベルギーの非営利組織RoelandとAFSベルギーの提携開催で、プログラム中は在イギリスのAFS職員がサポートの窓口となり、寮にはRoelandのスタッフが24時間常駐します。現地到着が夕刻となりますのでプログラムは翌日より開始となります。保護者はスタッフブログで生徒の現地での生活を確認することができます。

過去のブログはこちらから：<http://roeland.be/en/images/language-courses/304/>

語学研修およびその他の活動内容

授業は1日3.5～4時間で到着後にクラス分けテストを行います。1クラス10名程度のコミュニケーションを中心とした英語クラスです。その他、様々なテーマに沿ったアクティビティや異文化理解ワークショップなどが予定されており、各種スポーツも行われます。ロンドンおよび沿岸部への1日旅行も企画されています。

参考

〈スケジュール例〉

時間割	8:00-9:00	9:00-10:00	10:00-11:30	12:00-12:45	12:45-14:00	14:45-15:45	15:45-17:00	18:00-19:00	19:15-20:00	20:00-21:30
内容	朝食	英語研修	スポーツ	英語研修	昼食	英語研修	テーマごとのアクティビティ	英語研修	夕食	異文化理解ワークショップ

【アドバイス】

以下のサイトでご自身の英語力をチェックしてみましょう。intermediate 以上の方に適したプログラムです。
ILS English>Test your English
<http://www.ilsenglish.com/quicklinks/test-your-english-level>

イギリスの一般情報

駐日英国大使館ホームページ

<https://www.gov.uk/government/world/japan/ja>

外務省ホームページ：英国

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/uk/>



体験談

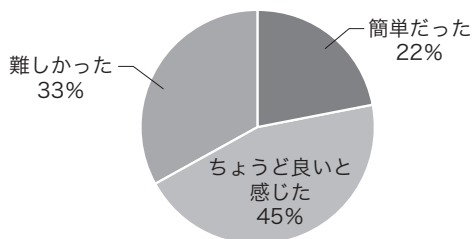


起きて部屋のドアを開けると外国人の友達がい、「Good morning!」と声をかけ合うことから始まる朝。寝る前に「Good night!」と交わしてドアを閉める夜。外国人と話して1日が始まり、1日が終わる。それが当たり前ようになっていて、日本での日常生活から完全に離れて過ごした2週間。日本では出来ない経験の連続でした。自由時間に卓球をしたり、お喋りをしたり……自分だけ国籍が違って壁など全く感じることなく、外国人のなかに混じりながら毎日楽しく過ごすことができました。こんなに外国人の友達と色濃い日々を送ることが出来たのも、寮生活ならではの貴重な経験だったと思います。

どのレッスンも遊び心に満ちて楽しかったですが、グルメの日でレストラン風に飾られた食堂で評論家を気取りつつチキンをたしなんでいた傍で、ウェイトレス役のスタッフが、お客役のハンサムスタッフを巡ってクリームパイと水を掛け合って喧嘩していたのは、今でも鮮烈に覚えています。趣味のグループができると、皆で協力して制作に熱中しました。休憩時間はボードサッカーや卓球を楽しみ、絵という共通の趣味で親友もできました。こうして自分は会話への不安を忘れて、どんどん会話をきりだせるようになりました。そして、皆の名前を覚えてきた頃には、帰国の日になっていました。充実した日々の余韻に浸る間もなく、イギリスを後にしました。いつもの世界に帰りましたが、自分の世界はうんと広くなりました。



研修の難易度



(参照：2017年度参加生アンケート調査)

- 英語で積極的に自分の意見や考えを言えるようになった。積極的に英語で話したり、疑問に思ったことを聞いてコミュニケーションがとれるようになった。
- 文化や国の違いを考えるプログラムが多く、また、自分たちのアイディアを求められることが多かったので積極的に自分の意見伝えられるようになったし、物怖じしなくなった。
- その日のテーマに合わせた授業内容の中で意見交換をする場が多く、話す力、聞く力が大きく伸び、スムーズな英会話ができるようになった。

後輩へのメッセージ

- 2週間は一瞬で過ぎてしまうけれど、毎日がすごく充実していて、何より英語を話すのが好きになれるはずです!! 自信をもって沢山話しかけて沢山友達を作ってください!!!
- 積極性がないと何も始まりません。失敗を向こうの人は責めたりしないので安心して失敗しましょう! 先入観は捨て、日本語も話さず新たな感覚の中で暮らしてみてください。本当に楽しいですよ!

参加生に聞いてみた! こんな質問

Q 課外授業ではどんなことをしましたか?

- スポーツでクリケットなど英国(西洋)ならではのものを選択して体験できた。
- ロンドン旅行。5人ほどのグループを作り、色々な観光地に行きその土地の歴史に触れたり、買い物をしたりした。また、観光中、文化の違いに沢山触れ、有意義な時間を過ごした。
- 毎日夕食後、ウェブデザインやメディア等様々なワークショップがあり、研修の最後で発表することを目標に、各チームに分かれて活動をした。

Q 食事は誰とどんなものを食べましたか?

- 朝は簡単にパン、フルーツ、シリアル、紅茶という感じだったが、昼夜は各国特有の料理が出されることが多かった。全員が同じ食堂で食事をしたが、朝は自由、昼はクラスごと、夜はワークショップごとの席で、食事の間にも互いの国の事についてたくさん話し合うことができた。
- それぞれの食事はビュッフェ方式だった。大広間で4つの長テーブルに分かれて席を取り、食べる形式だった。

参加費

プログラム関係費	248,000円
旅行代金	237,000円
合計	485,000円

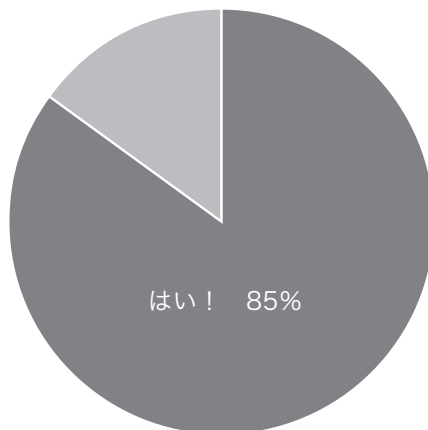
※上記参加費に含まれない経費等についてはP27をご参照ください。

参加者の声

2017年の参加者アンケートより

Q このプログラムに参加して、自身の意識や進路、目標に変化はありましたか。

A はい！ 85%



- 英語力をつけるのはもちろん、**話をするための知識量を増やしたい**と思った。
- 将来国際ボランティア団体の一員として様々な国の人たちと共に働くためには、自分の意見をしっかり言えたり、大勢の中でも発言できたりできるようになりたいと思った。
- 進路を変えようと思った。
- 日本の英語教育を変えたいと思い始めた。
- 世界中の人とかかわって仕事がしたいと思った。
- いつかイタリアとメキシコに行ってみたいと考えるようになった。
- 夢が「通訳」に定まった。
- 中国語をもっと聞いて話せるようになって、ホストファミリーに会いに行きたいと思った。また、中国の歴史や文化、政治をもっと知り、伝えたいと思った。
- **将来の夢や目標が増えた。**将来的に行きたい国が見つかった。
- 自分が思っていたよりも英語でコミュニケーションが取れるということに気づき、**これからの英語学習に対するモチベーションとなった。**
- 英語を使った仕事について海外で働きたい。
- 博物館で友人に恐竜について説明した時、将来そのような仕事をしてみたいと思った。
- 積極的に国際系の活動に参加して、**広い視野で物事を**



みよう意識するようになった。

- どんなことに対しても前向きに捉えられるようになった。1か月間という短い期間で、落ち込んでいる暇は無く常にアクションを起こさなきゃと思う日々だった。
- 外の世界にはまだまだ自分の知らない興味深いことがたくさんあることを実感することができた。
- 友達になった外国人と、言語の壁なく話したいと思った。今まで以上に英語を勉強して、またスピーキング力を上げられるように**自分の勉強の仕方を見直したいと思った。**
- イタリア語に興味を持った。
- 日本のみならず**他国の政治の状況に目を向けていきたい**と思った。
- 海外の大学へ進学したいと思うようになった
- 昔からの将来の夢を絶対実現したいと強く思うようになった。
- **将来について真剣に考えるようになった。**
- 言語が通じることは本当に素晴らしく、そのことに感謝して日本語を大切に使おうと思った。
- 英語や他の言語が話せるだけで、物の見え方が、変わることがわかった。
- とても大きな変化があった。**もっと移民を含めるグローバルイシューについて勉強したい**と思った。その為に大学で国際政治学や、国際経済学などを専攻したいと思うようになった。



参加者の保護者より

今後同じプログラムに参加される方へのメッセージ・アドバイス

(インド)

- 出発までの準備は、難しい言葉の並ぶ様々な書類や、インターネット上での手続きでとても大変な様でしたが、良い経験ができたと思います。同じ考えで集まった派遣生や、温かい気持ちで受け入れてくれたホストファミリーとの交流は、日頃通う学校では得られない、何ものにも代えがたい体験となったようです。『心の交流』をしている事をひしひしと感じます。
- 主人が反対する中「かわいい子には旅をさせよ」の精神でインド行きの背中を押しました。高校生という多感で柔軟性のある時に全然違う国を体験させてあげることができてよかったと思っています。つらいこともあったと思いますが、一緒に参加した仲間とともに問題解決をしていく方法を模索したようでした。行かせてあげることができて本当に良かったです。
- 1人旅では出せないからこそ、AFSのプログラムで！家族は温かく、とても大切にされます。

(中国)

- 異国での貴重な実体験を通して、子供たちがたくましく成長する瞬間(帰国時)を感じられます。中国のホストファミリーとの連絡はWeChatを使ってました。ホストマザーがタイムリーに写真を送ってくれたので、一緒に現地体験している気分になりましたよ。プログラムを終えた今でもWeChatでホストファミリーとつながっています。
- 中国での短期プログラムでは、中国の高校の様子がわかるだけでなく、また、ホストファミリーを通じて、中国の人たちのことに近づいて社会を理解でき、また各国の学生が集うプログラムなので、拡がりのある国際理解ができると思う。日本では、中国について偏見も多いが、現在の中国の国際化はとてもめざましいものがあると思う。
- 行く前は心配でしたが笑顔で帰国していろいろな体験を話してくれました。文化や生活の違いを感じながらも楽しんで過ごしてきた様子が感じられ成長したなあと思いました。

(オーストラリア)

- 送り出す前は様々な不安がありましたが、現地で問題が出て子供たちは自分で解決して楽しんでしまいます。サポートもいただけますし自主的に参加意志を持った子ならば安心して送り出せると感じました。
- 息子によるとタスマニアは非常に安全で環境が良く、何よりもホストファミリー含め皆さんが温かく広い気持ちで受け入れてくださるので安心してお子さんを送り出せると思います。
- 親が思っているよりも、しっかりこの留学を考え、現地での生活を乗り切ったものにしてきたと思います。この留学は娘にとって宝物になりました。

(アメリカ・サンディエゴ)

- 子供達が世界に出て自力で何とかすることを体験し、同年代をはじめ他国の様々な人たちとコミュニケーションを図り、自立の第一歩を踏むという貴重な経験を積むことができて、とても満足しています。
- 色々な国から留学に来る為、ハブニングは勿論あったようですが、一緒に渡米した日本人で力を合わせて解決したり、プレゼンしたりと4週間という期間で、団結力が生まれた事、また国際交流がとても密なものになりました。

- お金にかえられない、非常に貴重な経験がひと月の間にぎゅっと濃縮されています。色々な事が体験できる良いプログラムですので、お奨めします。子供も、帰国後暫くサンディエゴロスになっています。そんな素敵なプログラムなので、内気なお子さんとかそうでないお子さん共々充分成長できると思います。

(アメリカ・メリーランド)

- 親切なスタッフや良く検討されたプログラムのお蔭で本当に楽しく充実した留学期間を過ごすことができました。
- 各国の留学生とのルームシェア、勉強だけでなく、スポーツをしたり、ゲームをしたりと、盛りだくさんでとても充実したプログラムだったようです。娘は帰りたくないと思うくらい楽しかったようで、とても貴重な体験が出来たと思います。
- 情報化が進み、いろいろな国の映像や情勢が日本に居ながらにしてわかる時代ですが、実際にその国に行くことは、全く違った素晴らしい体験になるようです。高校生は、勉強や部活など、夏休みは忙しい時ですが、それらを犠牲にしても行かせてよかったと思っています。

(カナダ)

- ホストファミリーはもちろん、受け入れ先の色々なホストファミリーにも大変良くして頂き、このまま住んでしまいなさい♡と言って頂いたほどです。1か月寝食を共にしたイタリアのお嬢さんをはじめ、他国からの派遣生の皆さんとも、学校や放課後の遊びなど毎日一緒に過ごし、心からの友になれたようです。
- 英語の能力を伸ばそうと申し込んだカナダ短期留学でしたが、フランス語圏のモントリオールに派遣になりホストファミリーもカナダ人とモロッコ人のご夫婦のご家庭でイタリア人のAFS生と一緒にでした。これが素晴らしい経験でした。人種や語学や文化の多様性を垣間見ることができ、よい多文化共生の勉強になりました。もちろんみんなをつなぐ重要な道具が「英語」なんだと実感したようです。むしろそういう体験こそがAFSの魅力だと思います。
- AFSは歴史が深く、世界中にネットワークがあり、組織がしっかりしています。日本国内でも大学生のボランティア団体があり、長女は自分がカナダで受けた恩を日本でお返ししたいとボランティアに参加し、外国人留学生のサポートを続けています。これはAFSが人との繋がりを大事にしている団体だからこそこの良さだと思います。

(イギリス)

- ローランドのプログラムは国際教育、語学学習、自立等々全てにおいて十分に考えられていて、大変充実しています。我が家の上の子供たちは、他でいるようなホームステイを経験しましたが、このローランドのものほど、全てにおいて満足し、感謝したものはなかったと思ってしまうほどです。いろんな国籍の同じくらいの年齢の方たちとの寮生活を通して、グローバルな視点に触れることができ良かったです。
- ブログに写真や日々の活動内容をしっかりアップしてくださり、様子を知ることができたこともとてもありがたく安心して過ごすことができました。プログラムは多岐にわたっていて、環境は本当に素晴らしく恵まれた中での学びや様々な国の人達との交流、週末にはイギリスの街並みや文化にも触れ、すべてが素晴らしい体験になったようです。そしてますます海外へ出たいという希望が高まったようです。親子ともども参加して本当によかったと思っています。
- 受け入れ側が非常にしっかりしていて安心できました。我が家の娘のように部活、習い事始め多忙な学生生活を送るお子様にとりましては、2週間と言う短期間にも関わらず非常に充実した留学期間を過ごさせて頂きました。

★保護者対象のオリエンテーションも開催しますので、ぜひご参加ください。(P6)

AFS 短期派遣プログラム Q&A

Q ホストファミリーは どのように決められるのですか？

(オーストラリア、カナダ、インド、中国、フィリピン)

A 参加生に提出していただく「英文書類」を参考に、受入国の担当者が各ホストファミリー候補家庭を訪問し、プログラム内容の説明等を行い、受け入れの意旨があること、参加生の受け入れに適した環境であることを確認します。

Q ホストファミリーの人種や家族構成、 宗教等の希望は出せますか？ また、現地到着後に変更することは 可能ですか？

(オーストラリア、カナダ、インド、中国、フィリピン)

A 人種や家族構成、宗教等に限らずホストファミリーの希望を出すことはできません。参加生は与えられた環境を受け入れ、その家族に順応することが求められます。到着後に問題が起こった場合は、現地のAFS担当者が間に立ち、双方の努力で解決できるようサポートします。ホストファミリー変更が双方により必要とAFSが判断した場合には、変更されることもあります。

Q 緊急時のサポートは どうなっていますか？

A AFSでは、災害、事故、傷害、疾病などの緊急時に適切な処置がとれるよう、世界各国共通の基準を設けています。緊急時には事務局職員とボランティアが連携して24時間体制で対応にあたります。寮滞在の場合も24時間体制でサポートスタッフが配備されます。

Q 病気、事故、怪我をした場合の 治療費は？

A AFSでは、プログラム参加中のAFS留学生の医療費をまかなうために、二次的な保険に加入していますが、皆様には別途海外旅行保険に加入していただくことをおすすめしています。

Q 出発前のオリエンテーションでは 何をするのですか？

A AFSで留学するにあたってのルールの確認や、ホームステイや寮で生活するにあたっての心構えなどをディスカッション形式で話し合います。行き先国に関わらず、派遣内定生全員が参加しますので、同時期に留学するAFS生同士の情報交換の場にもなります。

Q 現地の高校生との交流はありますか？

A 留学中はAFS生のために組まれた語学研修がメインになりますが、プログラムによっては受入支部の行事などで現地の高校生との交流の機会が設けられたり、一緒に授業を受けたりすることがあります。

Q 配属地域は選ぶことができますか？ (オーストラリア、カナダ、インド、中国、フィリピン)

A 配属地域を選ぶことはできません。詳細は国別プログラム案内をご覧ください。

Q 出発日の変更や滞在期間を 延長することはできますか？

A プログラム実施期間が定められていますので、滞在期間の変更はできません。

Q 短期留学を終えたあと、 年間留学の試験を受けることは できますか？

A 年間留学の応募条件を満たしていれば可能です。詳しくは年間留学の応募要項をご確認ください。(2019年派遣の年間留学の資料は2018年3月1日より配布開始予定です)

Q 滞在中、日本人引率者が 同行しますか？

A 同行しませんが、現地のスタッフ・ボランティアが責任をもってお世話をします。参加生の皆さんにも、日本の代表として、責任ある行動や、自らの状況を英語で伝えようとする意欲と姿勢が求められます。

Q 語学研修はどのような内容ですか？

A オーストラリア・カナダ・インド・中国・フィリピンのプログラムでは、難しいことをテキストから学ぶというよりも、ゲームや会話をまじえながらその国の言語や文化に親しむことに重点を置いています。一方、アメリカ・イギリスのプログラムでは、テーマに沿ったディスカッションや実践活動を行うなど、英語を使って何かを成しとげるといった若干難易度の高い内容になっています。

Q 予防接種は必要ですか？

A 短期派遣プログラムで必須の予防接種はありませんが、必要な場合には都度ご連絡いたします。

参加費用について

参加費用は「プログラム関係費」と「旅行代金」を合計した費用です。

(単位：円)

受入国	プログラム関係費 (予定)	旅行代金 (予定)	合計 (予定)	国別情報掲載ページ
フィリピン	300,000	98,000	398,000	P9
インド	230,000	212,000	442,000	P10,11
中国	260,000	114,000	374,000	P12,13
オーストラリア	410,000	212,000	622,000	P14,15
アメリカ(サンディエゴ)	600,000	210,000	810,000	P16,17
アメリカ(メリーランド)	490,000	205,000	695,000	P18,19
カナダ	420,000	258,000	678,000	P20,21
イギリス	248,000	237,000	485,000	P22,23

① 各費用に含まれるもの

プログラム関係費：

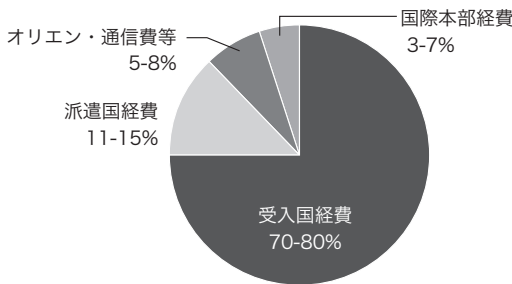
受入国経費：語学研修諸経費（授業料を含む）、寮滞在費、食費、ホストファミリー滞在中実費（カナダ）、AFS主催の行事への参加費（但し、オプション行事は例外）、その他現地活動費、受入国到着空港と寮またはホストファミリー宅間の交通費、プログラム運営・管理費

派遣国経費：プログラム運営・管理費

オリエンテーション・通信費：出発前および受入国でのオリエンテーション参加費、通信費

国際本部経費：AFSネットワーク管理・維持費、団体医療保険

プログラム関係費の内訳（参考）



※役務提供が日本国内で行われる業務（プログラム運営・管理、出発前オリエンテーション、国内通信など）には消費税が含まれます。

旅行代金：

エコノミークラス往復航空運賃（代金は2017年12月1日現在の見積額です。事前の通知なしに変更される場合があります）／インド・中国参加者の観光ビザ手続代行費用（但し大使館に支払うビザ代金は実費が当協会指定の旅行代理店^(※)より別途請求されます）

② 各費用に含まれないもの

選考手数料：6,480円／出発前オリエンテーション会場ま

での交通費／英文健康診断書作成料：約10,000円／予防接種費用（任意）／旅券印紙代：11,000円（5年旅券）／外国籍など追加の渡航手続きが必要な場合の費用／ETAS（オーストラリア）、ESTA（アメリカ）、eTA（カナダ）、インド・中国・ビザ代金／フィリピン（15歳未満の場合）ビザ代金、及びビザ手続代行費用／空港施設使用料・現地空港税・燃油サーチャージ・航空保険料・その他：参考カナダ（オタワの場合）14,220円、アメリカ（ワシントンDC）16,680円、インド7,770円、中国5,710円、イギリス27,340円、フィリピン6,420円（2017年10月末日現在の金額です）。為替レートや燃油サーチャージの変動により変更になります。オーストラリアのみサーチャージが旅行代金に含まれます。／日本国内における自宅から発着空港集合解散地点までの交通費・宿泊費／超過手荷物料金／オプション行事参加費／海外旅行保険料（任意）など

③ 各費用の支払い時期

指定された期限内に支払いを完了してください。振込については、別途ご案内を送付いたします。

プログラム関係費：

	お振込期限	お振込額
第一次金振込	一次選考結果通知の発行日より2週間以内	プログラム関係費のうち10万円
第二次金振込	「受入国書類審査通過のお知らせ」送付日より2週間以内	プログラム関係費の残金

旅行代金：

指定の旅行代理店との契約に基づき、指定期日までに旅行代理店に直接お振込みください。

※2017年12月現在、(株)日本旅行を予定しています。

参加の取りやめについて

1) 手続きについて

一次選考通過後、プログラムへの参加を取りやめる場合は、第一次金振込期限までに必ずお電話にてご連絡ください。折り返し、参加取りやめ届の書式をお送りいたします。書類の記入・返送をもって手続きが完了します。

2) 辞退金について

プログラム関係費

プログラム関係費は、一旦お支払いいただいた後、取りやめの時期により辞退金が発生します。プログラム関係費の支払い後、出国予定日以前に参加生がプログラムへの参加を取りやめた場合、お支払いいただいたプログラム関係費から、右記の(a)、(b) または (c) の辞退金を差し引いたうえでご返金いたします。

	フィリピン、インド、中国	オーストラリア、カナダ、アメリカ	イギリス
(a) 一次金納入後から「受入国書類審査通過のお知らせ」発行日付以前の場合	3万円	3万円	3万円
(b) 「受入国書類審査通過のお知らせ」発行日後、出国予定日の1ヵ月前までの場合	7万円	7万円	※18万円
(c) 出国予定日の1ヵ月前を過ぎた場合	15万円	20万円	20万円

※イギリスプログラムは提携機関との契約により (b) の費用が設定されています

旅行代金

旅行代理店との契約に基づき、定められた取消料をお支払いください。

内定取消について

受入国が内定してから日本を出発するまでの間に次のような事態が生じた場合には、「内定取消」になることがあります。内定取消になった場合は、同年度の短期プログラムに参加することはできません。なお、下記への該当性の有無は、当協会の判断によります。

- 1) 当協会および留学内定国が定めている心身の健康状態などの基準を満たしていないとき
- 2) 犯罪に関わり、あるいは重大な交通事故を引き起こしたとき
- 3) 自己または他人を傷つけ、あるいは危険にさらしうする言動をしたとき（ソーシャルメディアへの投稿などによる場合を含む）
- 4) 日本の中学校・高等学校・高等専門学校または専修学校高等課程に在学しなくなったとき
- 5) 当協会に提出した書類の情報が正しく記載されていなかったとき
- 6) 当協会に提出すべき書類の提出あるいは報告を怠ったとき
- 7) 当協会が定められたオリエンテーションの全日程を終了しなかったとき
- 8) オリエンテーションなど当協会の催しにおいて、AFS生として適切ではない行動または態度が見られたとき

- 9) 受入国のAFS事務所が受け入れを拒否したとき。ただし、他の希望国に配属された場合は除く
- 10) プログラム関係費の支払い期日を過ぎても支払いがなされないとき、および出発予定日の前日までにプログラム関係費全額の支払いが完了しないとき
- 11) 時期、態様のいかんを問わず、AFSの名誉あるいはAFSに対する社会的評価を傷つけ、AFS生としての品位を汚し、AFS又はAFS職員に対する暴言、威嚇あるいは侮辱を行うなど、不適切な行為を行ったとき
- 12) 以上のほか、AFS生として適性を欠くと認めるべき事由があるとき

なお、内定取消になった場合の返金規定は下記の通りです。

*上記1) および9) で内定取消となった場合は、参加規程第3項①によりお支払いいただいたプログラム関係費全額を返金します。

*上記2) 3) 4) 5) 6) 7) 8) 10) 11) 12) で内定取消となった場合は、取消の時期に応じ参加規程第2項に従ってプログラム関係費を返金します。

旅行代金の返金については、当協会指定の旅行代理店が別途定める規定に従ってください。

※内定取消を含むAFSの諸規定については一次選考通過後にお渡しする「2018年度AFS短期派遣プログラム参加規程」でご確認ください。

※「2017年度AFS短期派遣プログラム参加規程」についてはP33-36をご覧ください。

AFS短期派遣プログラム申込書

<希望国名> 参加を希望する国のみ順位を記入 第1希望 _____ 第2希望 _____ 第3希望 _____ 第4希望 _____ 第5希望 _____ 第6希望 _____ 第7希望 _____ 第8希望 _____				縦 45mm×横 35mm (パスポートサイズ)の 無背景顔写真を貼付。 表情の明るい写真を用 いること。裏面に氏名 を記入。		
ふりがな 氏名 _____		国籍 _____	男・女 _____			生年月日(西暦) 年 月 日
ローマ字表記						
ふりがな 現住所 〒 _____				TEL () _____ FAX () _____ e-mail : 携帯 TEL(本人)() _____ 携帯 TEL(保護者)() _____		
緊急連絡先 ※住所は現住所と異なる場合のみ記入 氏名 _____ (続柄：) 住所 〒 _____				TEL () _____ FAX () _____ e-mail : 携帯 TEL () _____		
在学学校名 (ふりがな) ※2018年4月時点もしくは進学予定校 ※未決定の場合は現在の在学学校名 国立 _____ 公立 _____ 私立 _____				高等学校 _____ 高等専門学校 _____ 専修学校高等課程 _____ 中等教育学校 _____ 中学校 _____		
在学学校住所 〒 _____				在学学校 TEL () _____ 在学学校 FAX () _____		
				保護者氏名 _____ 続柄 _____		
下記の内容について確認・同意していることを確認し、□に✓を入れてください。						
					参考ページ	
☐	AFSのプログラムに参加するに当たり、2-3ページの「AFSの特色」を読み、AFSの理念をよく理解し、参加生自らがすすんで学び、異文化を受け入れる努力をします。				2-3ページ、巻末	
☐	4ページの応募資格の全ての項目を満たしていることを確認しました。				4ページ	
☐	留学準備は出発前から参加生本人が積極的に取り組みます。また、決められた日程、会場のオリエンテーションに参加します。				6ページ	
☐	当協会に提出した書類の内容が正しく申告されていない場合は、派遣内定が取り消される場合があることを理解しています。				28ページ	
☐	配属先(受入地区・ホストファミリー)や、配属形態(一家庭に日本人が一人、または複数の日本人生徒が滞在する)は希望できないことを理解しています。				26,34ページ	
☐	一次選考通過後、プログラムへの参加を取りやめた場合には参加規程及びP28「参加の取りやめについて」に則り、プログラム辞退金、および、旅行会社の旅行契約に基づく取消料が生じることを理解しています。参加規程は一次選考通過後にお渡します。				28,33-36ページ	
プログラム期間中、健康・食事(アレルギーなど)、運動面での制約がありますか。 (例：ハウスダストに敏感でくしゃみが出ることもあるが、通常の生活に支障はない。)					2017年度の欠席日数 日	

上記事項を確認しました。これらに同意のうえ短期派遣プログラムに申し込みます。

年 月 日

年 月 日

本人署名 _____

保護者署名 _____

保護者署名 _____

※すべての項目に応募者本人が記入してください。

1. AFSの短期派遣プログラムに参加しようと思った理由・参加にあたっての意気込み（日本語/400字程度/横書き）

「ここから横書き」

- ◆自己紹介、自己PRを含めてください。

◆一次選考を通過した場合、このメッセージを元に英文レターを作成していただきます。

3. AFSの短期派遣プログラムは、多くの現地ボランティアによって支えられている異文化交流プログラムです。受け身の旅行とは異なり、自ら積極的に参加することが重要です。プログラムを通じて、吸収したいこと・期待すること及び、自分が現地で出会った人にしてあげたいことについて簡潔にご記入ください。

— 〈吸収したいこと・期待すること〉 —

— 〈現地で会った人にしてあげたいこと〉 —

AFS 短期派遣プログラム参加規程

2017 年度 AFS 短期派遣プログラム（オーストラリア・カナダ・インド・中国）は、下記に提示する参加規程に沿って、運営・実施されました。

※アメリカ・イギリス・フィリピンプログラムには別途参加規程があります。
※一次選考通過後、2018 年度 AFS 短期派遣プログラム参加規程をお読みいただいた上、ご署名が必要となります。

※2018 年度 AFS 短期派遣プログラム参加規程は一次選考通過後、お渡しします。

AFS Intercultural Programs, Inc. は、米国ニューヨーク州ニューヨーク市に本部を置く非営利法人です。公益財団法人 AFS 日本協会は、内閣総理大臣によって認定された非営利法人です（以下、AFS Intercultural Programs, Inc.、公益財団法人 AFS 日本協会、並びに両者の関係団体を併せて、「AFS」と総称します。）。AFS は、さまざまな異文化体験学習プログラム（以下、「AFS プログラム」といいます。）を通じて、参加生、家庭、ボランティア、そして地域の人々に対し、多様な文化で構成されている一方で相互依存の度合いを増しつつある世界において、有意義な貢献をするために必要な技能、態度、知識を得ることができるような機会を提供しています。

AFS プログラムは、各国の独立した AFS 組織が運営を担っています。AFS は、各国 AFS 組織を通して受入学校、ホストファミリー（ホームステイの場合）への配属、オリエンテーションの手配を行います。また、一般の業者を通して往復の交通手段の手配をし、緊急事態が生じた場合には、医療及び特別の移送の手配を行います。

日本では、公益財団法人 AFS 日本協会（以下、「AFS 日本協会」といいます。）が AFS プログラムを運営しています。

以下に記載された AFS 短期派遣プログラム参加規程は、AFS が参加生及びその保護者の協力を得て AFS プログラムを運営していくための条件を定めたものです。

参加生及び保護者は、本参加規程の末尾の署名をもって、本参加規程を遵守することに同意します。

短期派遣プログラム参加規程

短期派遣プログラム関係費に関する規定

- 参加生とその保護者は本規程に定める条件のもとに、「AFS 短期派遣プログラム関係費説明書」（別紙）に定める短期派遣プログラム関係費全額を、以下のとおり、AFS 日本協会に支払います。

参加生とその保護者は、第一次選考結果通知を受け取った後、別途 AFS 日本協会が指定した方法で指定した期日までに、第一次納入金として、プログラム関係費のうち 10 万円を AFS 日本協会に支払います。プログラム関係費の（10 万円を除いた）残額は、第二次納入金として、「受入国書類審査通過のお知らせ」を受け取った後、別途 AFS 日本協会が指定した方法で指定した期日までに、AFS 日本協会に支払います。

なお、AFS 日本協会は、本規程第 2 項及び第 3 項の場合を除き、支払われたプログラム関係費の払い戻しは行いません。

- プログラム関係費の支払期日後、出国予定日以前に参加生がプログラムへの参加を取りやめた場合、AFS 日本協会は、その理由のいかんを問わず、参加生とその保護者が支払ったプログラム関係費から、参加取りやめの通知が AFS に届いた時点に応じて、下記の (a)、(b) 又は (c) の金額を差し引いたうえ、残りの金額を参加生とその保護者に払い戻します。

- 「受入国書類審査通過のお知らせ」の発行日付以前の場合、3 万円
- 「受入国書類審査通過のお知らせ」の発行日後、出国予定日の 1 ヶ月前までの場合、7 万円
- 出国予定日の 1 ヶ月前を過ぎた場合、20 万円（インド、中国は 15 万円）

払戻金の振込手数料は上記 (a)、(b) 又は (c) いずれの場合も、参加を取りやめた参加生とその保護者の負担となります。

参加取りやめの通知が AFS に届いた時点において、プログラム関係費の支払いが上記 (a)、(b) 又は (c) に記載された金額に満たない場合、参加生とその保護者は、参加取りやめの通知が AFS に届いた時点に応じて、上記 (a)、(b) 又は (c) に記載された金額に満つるまで残金を支払います。上記 (a)、(b) 又は (c) に記載された金額を上回るプログラム関係費が支払われている場合は、AFS 日本協会は、上記 (a)、(b) 又は (c) に記載された金額を差し引いた上、残りの金額を参加生と保護者に払い戻します。

- 参加生が次のいずれかに該当する場合には、AFS 日本協会は、参加生とその保護者が支払ったプログラム関係費全額を、参加生とその保護者に払い戻します。

- ① 受入国による書類審査を通過しなかった場合
- ② 受入国による書類審査を通過した者であって、下記 (a)、(b)、(c) のいずれかに該当する場合
 - (a) 自然災害、戦争、受入国 AFS の崩壊などのため、出国予定日当日又はそれ以前に AFS がプログラムを中止した場合
 - (b) 最終的にホストファミリーへの配属ができず出発が不可能となった場合
 - (c) 受入国から査証が発給されずプログラムに参加できなかった場合

- AFS は、プログラムの準備段階で実際に発生した経費及び予想される経費に基づきプログラム関係費を定めています。予測できない理由で経費が増加した場合、AFS はプログラム関係費を増額することができます。その場合、参加生とその保護者には増額の理由が通知されます。

安全とサポートに関する規定

- AFS は積極的な体験学習を推進するよう努めていますが、すべての参加生の生活を厳しく監視することができないという意味において、参加生の健康と安全を保障することはできません。参加生は、受入国滞在中は、受入国 AFS の旅行に関するガイドラインを守らなければなりません。参加生の個別旅行については最終的な日程を決める前に、受入国 AFS 事務所ないしは地域担当者の承認を得なければなりません。

参加生と保護者は、プログラム参加期間中参加生がこれまでに経験のない、あるいは本国では経験することのないスポーツや諸活動に取り組むことがあり得ることを理解し、本参加規程の署名をもってそのようなスポーツや活動に参加するための書面による許可を与えます。参加生と保護者は、受入国が内定した時点で、「受入国での諸活動への参加及び免責に関する同意書」に署名を求められます。また、参加生と保護者は、参加生が特定の活動や受入学校が行うスポーツ行事に参加するため、参加生の行事への参加と行事関係者の免責に同意する文書への署名を求められる場合があります。

- 長年にわたる経験から AFS は、家族や親類、友人たちの訪問が参加生の受入地域での活動やホームステイ体験を阻害する可能性があることを学んできました。したがって、AFS は、プログラム中の家族や親類、友人たちの訪問を制限しています。家族や親類、友人たちが参加生を訪問するにあたっては、あらかじめ受入国 AFS 事務所の承諾を得なくてはなりません。また、訪問の時期や期間については、受入国の規則に従います。場合によっては家族や親類、友人たちの訪問が必ずしも許可されないこともあります。なお、訪問中に、ホストファミリーに滞在するなど負担をかけるようなことをしてはなりません。

AFS 短期派遣プログラム参加規程

7. 参加生はプログラム参加中、その地域の法律に則った免許を必要とする自動車やその他の乗り物を運転してはいけませんし、また、免許を取得するためのいかなる行動も起こしてはいけません。この規定を守らなかった場合、プログラムは中止となり、参加生は早期帰国となります。

8. 参加生は、出発前、受入国滞在中及び帰国後を通じて AFS が実施するオリエンテーションなどの各種の活動に関して、AFS から求められた義務を果たし課題をこなさなければなりません。参加生は、受入学校の授業に出席し、その学校のガイドラインに沿って定められた課程を修める責任があります。退学処分を受けた場合を含め、こうした責任や義務を怠ったりそれらに違反したりした場合は、プログラムが中止され早期帰国となります。

9. 参加生の書類審査及び配属に関する最終決定は受入国 AFS が行います。ホストファミリーや受入学校、並びに受入地域への配属(以下、「プレースメント」といいます。)の決定、及び受入国内で AFS が必要と判断した場合のプレースメントの変更に関しては AFS がすべての権限を持ちます。AFS は、プログラム参加中に参加生を複数の家庭に配属する場合があります。参加生は、人種・信条・肌の色にかかわらず決定されたプレースメントを承諾しなければなりません。参加生とその保護者が AFS の決定したプレースメントを拒否した場合、AFS は法的義務を負わないので、別のプレースメントを提供しません。なお、受入国による書類審査を通過した場合でも、最終的にホストファミリーや受入学校への配属ができないため出発が不可能となることや、受入国の査証が発給されないため AFS プログラムに参加できないことがあります(これらの場合のプログラム関係費の返還については、第 3 項を参照してください)。

AFS は AFS の定めたガイドラインに従ってホストファミリーを選びます。プログラムを通じて参加生とホストファミリーは、AFS のボランティアや職員からサポートを受けることができます。AFS はサポートの一つとして、ホストファミリーに対するオリエンテーションを行い、ホストファミリーとしての十分な理解を求めます。ただし、この AFS によるサポートは、日常生活を常に監督することは不可能であり、また、不適切でもあるので、ホストファミリーが理解し実行しているホストとしての役割を果たすための態度や方法が適切であるかということ、AFS がホストファミリーそれぞれの日常生活に立ち入って監督や指導することまでは含んでいません。また、この AFS によるサポートは、ホストファミリーに対して AFS 及びそのプログラムへの理解を求めるオリエンテーションは行うものの、いかなる目的のためにもホストファミリーが AFS を代表したり代理人として行動したりすることを認めるものではありません。

したがって、AFS は、ホストファミリーの家族の故意又は過失が原因であると主張される損害や損傷に対する賠償請求に関してはいかなる法的責任も義務も負いません。

10. プログラムを通じて参加生は AFS ボランティアや職員からサポートを受けることができます。この AFS によるサポートは、経験と研究に基づき適切と思われる助言や援助が中心となりますが、参加生がホストファミリーとの日常生活を営む中で参加生としての役割を果たすための態度や方法が適切であるかということを監督することまでは含んでいません。また、この AFS によるサポートは、参加生に対して AFS 及びそのプログラムへの理解を求めるオリエンテーションは行うものの、いかなる目的のためにも参加生が AFS を代表したり代理人として行動したりすることを認めるものではありません。

したがって、AFS は、プログラム参加中の参加生本人の故意又は過失が原因であると主張される損害や損傷に対する賠償請求に関してはいかなる法的責任も義務も負いません。また、プログラム参加中に参加生が被った損害や損傷に対する損害賠償にかかわることは、すべて参加生及びその保護者の責任となります。AFS は、要請があれば、弁護士を紹介するなどの法的援助を行います。そうした参加生本人

の故意又は過失に基づく損害賠償請求から参加生を守る義務を負うものではなく、そのような弁護を行い、参加生を擁護することはありません。

11. 麻薬の使用に関する法律は多くの国で厳しいものになっており、長期間の投獄か、死刑が科せられています。AFS の参加生は受入国と受入地域の法律に従わなければなりませんし、参加生が違法薬物にかかわったり、いかなるものであれ、違法行為にかかわったりした場合、AFS もその参加生が国籍や市民権を持つ本国政府も参加生を逮捕や処罰から保護することはできません。そうした犯罪やその他の法的事柄に関して法的手続きを取る場合の費用については、参加生及びその保護者の負担となります。医療目的以外で麻薬の使用にかかわった場合は、早期帰国となります。

参加生はアルコール飲料の購入や消費については、受入国や受入地域の法律に従わなくてはなりません。加えて、AFS は参加生が飲酒に関しては責任感ある態度をもって受入国や受入地域の慣習やしきたりを尊重することを求めています。プログラム期間中は、一気飲みに類するものを含め、アルコール飲料の乱用は許されません。アルコール飲料を乱用したり、短時間に多量の飲酒をしたりすることは、自他を危険にさらすことになります。例えば、短時間に多量に飲酒すると急性アルコール中毒を引き起こし、死に至ることがあります。酔っ払って、不適切な行為を行うこともあります。また、そのようなことを他の人に勧めたりすると刑事事件になる場合もあります。そのような飲酒にまつわる言動は、AFS プログラム参加中は許されず、参加生は早期帰国となります。アルコールの使用に関して逮捕されたり、受入学校から停学処分を受けた場合も早期帰国となります。

12. 進行中のプログラムの中止

(a) 参加生が受入国への移動中又は滞在中に参加生が危険にさらされるような状況が受入国側にあると AFS が判断した場合、AFS はいつでもプログラムを取り消したり、一時中止したりすることができます。参加生あるいは保護者がある特定の受入国の状況について心配がある場合には、AFS に連絡を取り、AFS は入手している情報を提供するか、外交にかかわる地域の官庁への照会を勧めます。AFS が危険になり得ると判断する事態がプログラム期間中に受入国で生じた場合、AFS は参加生を帰国させることがあります。

(b) 参加生が本参加規程の各規定を守らなかった場合、参加生又は保護者が参加生にかかわる重大なことがらを正しく報告していなかったり開示していなかったりしたことが判明した場合、又は参加生や AFS のためにならないような言動が参加生にあったと AFS が判断した場合、AFS はその参加生のプログラム参加を取り消し、本国に早期帰国させることができます。例：参加生が自動車やエンジン付きの乗り物を運転した場合(第 7 項参照)、早期帰国となります。またアルコールを乱用したり、医療目的以外に麻薬を使用したり、あるいはかかわった場合(第 11 項参照)も早期帰国となります。

参加生が自動車やエンジン付きの乗り物を運転したことや、医療目的以外に麻薬を使用したり、あるいはかかわったりしたことや、その他の自他を危険にさらすような言動があり、それらについての情報がソーシャルメディア(例として、ユーチューブなどの動画投稿サイト、ツイッターなどの簡易投稿サイト、mixi や Facebook などのソーシャル・ネットワーキング・サービス、ブログなど)や他の公開サイトで得られた場合も早期帰国の対象になり得ます。受入国の旅行に関する方針やその他、参加生の安全を守るための方針を守らなかった場合も早期帰国の対

象になり得ます。

- (c) 保護者の同意のあるなしにかかわらず、プログラムを完了しないと参加生が判断した場合、参加生のプログラムへの参加は中止され、引き続き受入国に滞在することはできません。また、出国するために国際空港へ向かうまでの国内運賃も含めてプログラムの残りの期間におけるプログラム関連のサポートを受けることができません。
- (d) 参加生のプログラムへの継続的参加に実質的に支障がでるような身体的、医学的、心理的な問題が生じる、又はすでに参加生にそのような問題が生じている、とAFSが判断したとき、又は参加生が本国内で治療を続けた方がよいと医療専門家が判断したとき、AFSは参加生のプログラムへの参加を中止させ、早期帰国させることができます。

プログラムの応募書類とともに提出する健康診断書は真実を記したもので、一切間違いや記入漏れがあってはなりません。もし応募書類提出後、出発前に何らかの重大な健康上の出来事（処方薬の種類や量の変更や身体面や精神面での治療の開始又は終了を含みますが、それらに限りません）が生じた場合には、AFSに直ちに文書で報告しなければなりません。AFSは参加生のAFSプログラムへの参加が適切かどうかを決定し、AFSプログラムへの参加が参加生やAFSにとって最善ではないとAFSが判断した場合には、AFSはプログラムへの参加を取り消したり、出発を延期することができます。健康診断書の間違いや記入漏れは参加生のプレースメントの実施や継続を困難にし、プログラム参加の出発前の中止や、早期帰国の原因となり得ます。

以上の例で説明したような事態が生じた場合には、プログラム関係費は返還されません。また、早期帰国の決定に関連した帰国便の手配は、旅行部分の主催者である旅行代理店（第15項、第18項参照）との契約条件に沿って行われます。AFSは、参加生の早期帰国を決定した場合、その旨を旅行部分の主催者である旅行代理店に通知します。

旅行に関する規定

- 13. 参加生はAFSの単一のプログラムに参加し、AFSによってあらかじめ定められた旅行期間を除き、そのプログラム期間中受入地域に滞在しなければなりません。滞り途中で受入国を離れたり、帰国したり、滞り中に一時帰国したりすることは許されていません。参加生は受入国内のプログラム終了後、本国に帰国します。
- 14. 本国内の自宅と出国国際空港との間並びに帰国国際空港と自宅との間の旅行手続き及びそれにかかわる一切の費用は、参加生とその保護者の負担となります。
出入国管理法の規定あるいはその他受入国固有の事由に抛り、プログラムが終了もしくは中止した参加生は、受入国にとどまることができないことが多々あります。そのため、プログラムが終了又は中止次第、参加生はあらかじめ決められた旅程に沿って受入国を離れなければなりません。このような規定のある国に滞在する参加生は、プログラムが終了又は中止次第、速やかに帰国します。
- 15. 本国と受入国の往復の交通機関、日程などに関してはAFS日本協会の指定する旅行代理店（第18項参照）が手配を行います。
- 16. 参加生はAFS及びAFSの指定する旅行代理店が手配した出発日及び帰国日、旅行手続き、交通機関、日程に従わなければなりません。この日程や手続きに従わない場合は、プログラムに関連するサポートを受けられない場合があります。

- 17. 参加生が書類を提出しなかったり不備のまま提出したり、適切な旅行条件を満たさなかったり、責任を果たさなかったりしたために生じた、あるいは参加生の不適切な行動により生じた、余分な旅費や経費は、参加生とその保護者がAFSに弁済しなければなりません。

- 18. 参加生とその保護者は旅行に関する以下の条件に同意します。

責任について

本国と受入国の往復の交通機関、日程などに関しては、AFS日本協会の指定する旅行代理店が手配を行います（第15項参照）。参加生及び保護者は、指定旅行代理店との間で旅行に関する契約を取り交わさなくてはなりません（旅行代金の支払いについては指定旅行代理店との契約条件に従います。）。また、受入国内の交通機関の手配は、受入国AFS及びその指定する旅行代理店が行います。

AFSは、旅行又は交通機関により生じた物的損害、人的損害及び損失については、AFSに故意又は重大な過失がない限り、原則として責任を負いません。

変更とキャンセルについて

旅行の日時、日程、利用交通機関は変更することがあります。この場合、AFSは、日程変更により生ずる不都合ないし損害については、AFSに故意又は重大な過失がない限り、原則として責任を負いません。

個人の荷物と所有物について

AFSは、個人の荷物や所有物の損失や損害について責任を負いません。また、参加生が自分の所有物の損害や損失に関し交通機関に対し請求できる範囲は限られており、その範囲は航空券の条件、あるいは参加生に対し航空会社や輸送業者が発行する輸送約款に定めるとおりです。

荷物料金（受託手荷物手数料や超過料金など）やその他、航空券に含まれていない付随的な費用は、参加生の負担になります。

医療に関する規定

- 19. AFSは、二次的旅行医療保険に加入しています。この保険は、1件あたり1,000,000米ドルを上限として、参加生に発生し支払われた医療費すべてを補償するものです。ただし、参加生が出国するための集合場所に到着した時点から、第8項(c)によりAFSプログラムを早期終了した時、又は本国に帰国した時のどちらか早い時点までに治療が行われる場合に限りです。この旅行医療保険は、参加生が帰国した後の医療費については、そのような費用がAFSプログラム参加中に生じた事情に起因するかどうかにかかわらず、補償しません（ただし、「医療パンフレット」で詳述されている場合はこの限りではありません。）。参加生とその保護者は、AFSが加入しているのは二次的な保険であるため、参加生が契約している一次的保険契約会社に対し、AFSが求償することがあることを理解しています。

補償の具体的な条件については、「医療パンフレット」を参照してください。

参加生とその保護者は、参加生が公的な健康保険及び傷害保険の制度に加入していない場合には、個人的に健康保険及び傷害保険に加入するよう、AFSが参加生に対し強く勧めていることを理解しています。

- 20. AFSは、以下に関する費用については、それらの医療などがいつ行われ、費用がいつ発生したかにかかわらず、その費用を一切負担しません。すなわち、参加生が出国するための集合場所に到着した時点から遡って18か月の間に治療を求めたか、治療が行われた症状（以下、「直近の既往症及び現症」といいます。）、予防薬、予防接種、歯科治療、眼鏡、コンタクトレンズ、通常の視力検査、美容整形手

AFS 短期派遣プログラム参加規程

術や緊要ではない手術など。参加生が上記医療などを必要とした場合には、保護者は参加生又はホストファミリーから、そのような医療を行うこととその費用を支払うことへの許可を求める連絡を直接受け、必要な金額を参加生又はホストファミリーに直接送金しなければなりません。

直近の既往症及び現症の治療に必要な器具、医薬品の手配・輸送・管理などは、すべて参加生の責任で行わなければなりません。AFS は、上記器具、医薬品の輸送に関する費用などの直近の既往症及び現症に関する費用を一切負担しません。直近の既往症及び現症に起因して早期帰国をしなければならない場合、参加生と付添者の航空運賃や付添者の宿泊食費や日当を始めとする必要諸経費など関連諸経費は、保護者が負担します。直近の既往症及び現症に関する医療措置や治療に関しては、AFS には説明責任はありません。上記に関連する費用が発生し、これを AFS あるいは AFS が依頼した第三者が立て替えて支払った場合は、参加生とその保護者がその費用全額を AFS 又はその第三者に対し、返済します。

21. 医療行為を受けるかどうかの最終的な決定は保護者が行います。ただし、AFS 医療費プランは、参加生が出国するための集合場所に到着した時点から、本国に帰国するまで、又は AFS プログラムを早期終了した日のどちらか早い時点までの間に主治医の勧めに基づいて行った医療行為の医療費だけが弁済の対象になります（第 12 項 d 参照）。参加生と保護者は、医療行為に関して以下の条件を承諾します。

- (a) 医療機関の選択にあたっては、その受入地域で広く信頼されている水準にあるものを選ぶよう最大限の努力をします。一部の国ではその国の守秘義務や医療手続きに関する法律のために、AFS が参加生の治療に関する医療記録や文書入手できないことがあります。
- (b) 医療にかかわる緊急事態が生じた場合、もし時間の余裕があれば、AFS は AFS 日本協会を通じて保護者に連絡を取り、手術やその他必要な処置の許可を要請します。ただし、参加生と保護者は、AFS に対し、保護者に連絡を取る時間的余裕がなく、その状況にもないと AFS が判断した場合、AFS が保護者に代わり、医師の勧めに従い、その監督のもとで行われる医療処置、レントゲン検査、麻酔、輸血、その他内科的又は外科的診断、治療、入院に同意することを認めます。

加えて、一刻を争うような緊急事態が発生した場合には、医療従事者が参加生の命を救うために必要と判断した場合、保護者や AFS に連絡がある前に、レントゲン検査、輸血、手術などの医療処置が取られることを認めます。

- (c) 主治医が医療上の理由により国外退去を勧めた場合など参加生がいったん受入国を離れ他の施設に移った場合には、AFS 医療費プランの対象から外れます。
- (d) 参加生と保護者は、緊急治療にかかわる措置に関して、AFS に対し、一切責任を求めません。

個人情報保護

22. AFS は、個人情報を重要なものと認識し、その取り扱いについては細心の注意を払います。参加生及びその保護者は、以下に掲げる AFS における情報セキュリティ・個人情報保護に関する基本方針に同意します。

個人情報の保護・管理

AFS は参加生とその家族から提供された個人情報の保護を重視し、そ

の取り扱いについては細心の注意を払います。個人情報はコンピュータ、ファイルキャビネットなどで厳重に管理し、安全な方法で保管します。電子化した個人データは漏洩、滅失、破棄・毀損などの防止のために、厳重に管理された国内及び海外の複数のデータセンター内のコンピュータに安全な方法で転送し、保管します。

個人情報の利用について

参加生の応募時点以降、AFS が取得する参加生及びその家族などに関する個人情報は、参加生の選考、旅行手続き、プレースメント、研修、サポート、評価・改善など、AFS プログラムの実施に必要な範囲内でのみ保管し、AFS 役職員、顧問、ボランティアが必要な場合に限り利用します。

個人情報の第三者への提供について

AFS は以下の場合を除き、参加生とその家族に関する個人情報を第三者に提供しません。

- (1) あらかじめ参加生と保護者の同意を得ている場合。
- (2) AFS プログラム運営のため、AFS が適切な監督を行う業務委託先に提供する場合。
- (3) 参加生の生命、身体又は財産の保護に必要な場合で、参加生及びその保護者の同意を得ることが困難な場合。
- (4) 司法機関、行政機関などから法令に基づき提供を命じられた場合。

サポートに関する情報の保管・利用について

AFS は、プログラム参加期間を通して、参加生やその他複数の AFS 関係者にかかわる個人情報を適切に保管します。また、AFS は参加生のサポートに関する情報を記録し、機密情報として保管します。これらの情報は AFS に帰属し、AFS プログラムの実施に著しい支障を及ぼす恐れがあるため、法律により義務づけられる場合を除き、開示しません。

- 23. 本参加規程は、別途参加生及び保護者が提出した AFS プログラム参加応募書類、「受入国での諸活動への参加及び免責に関する同意書」、「医療パンフレット」とともに、当事者間の完全な合意をあらわすものです。
- 24. 参加生と保護者は、プログラム参加応募書類には事実を正確に記載したことを確認し、また、何らかの変化が生じた場合は、直ちに AFS に報告することを約束します。
- 25. 本参加規程に関連して、特別の事情により発生した損害賠償の請求については、AFS は一切、責任を負いません。ただし、AFS（その役職員を含む）に故意又は重大な過失がある場合はこの限りではありません。
- 26. 本参加規程に記載されている規定のいずれかが効力を失ったり、強制力を失ったりしても、本参加規程に記載されている残りの規定の有効性には何の影響も及ぼしません。
- 27. 本参加規程の内容及びそれに関連する事項についての争訟は、日本法を準拠法とし、東京地方裁判所を第一審管轄裁判所とします。

AFSの理念

AFSの目的

AFSは国際的なボランティア団体であり、営利を目的としない民間の組織である。

より公正で平和な世界の実現に必要な知識、能力、理解力を多くの人びとが身につけるため、さまざまな異文化と接する機会を提供することを目的とする。

AFS Statement of Purpose

AFS is an international, voluntary, non-governmental, non-profit organization that provides intercultural learning opportunities to help people develop the knowledge, skills and understanding needed to create a more just and peaceful world.

AFSの基本的価値観と立場

多様性に満ちた世界において、平和と相互理解の推進のため行動する、責任ある地球市民を育てようとAFSは考える。平和は常に、不正、不公正、偏狭な心によって脅かされる危ういものだと認めるからである。

AFSはすべての個人すべての国と文化に、それぞれの尊厳と価値があると確信し、その考えが広く確立されるよう努力する。そして、人種、性、言語、宗教、社会的地位の違いとは無関係に、人権と基本的自由が尊重されるよう、その実践を推進する。

AFS活動は人間の尊厳、違いの尊重、調和、感受性、寛容の精神という基本的価値観に基づいて行われる。

- 1993年開催 AFS世界会議で採択

The Core Values and Attributes of AFS

AFS enables people to act as responsible global citizens working for peace and understanding in a diverse world. It acknowledges that peace is a dynamic concept threatened by injustice, inequity and intolerance.

AFS seeks to affirm faith in the dignity and worth of every human being and of all nations and cultures. It encourages respect for human rights and fundamental freedoms without distinction as to race, sex, language, religion or social status.

AFS activities are based on our core values of dignity, respect for differences, harmony, sensitivity and tolerance.

- Adopted at the 1993 World Congress



AFS短期派遣プログラム
2018年 応募要項

発行年月日 2017年12月14日

発行／公益財団法人 AFS日本協会

AFSでは短期派遣プログラム以外にも、年間派遣プログラム参加者や
来日留学生のホストファミリーを募集しております。
ご興味のある方は当協会までご連絡ください。
ホームページやSNSでも最新の情報をご覧ください。

www.afs.or.jp



facebook.com/afsjapan



twitter.com/AFSJAPAN



youtube.com/AFSJPN

〒105-0001

東京都港区虎ノ門1-22-14
ミツヤ虎ノ門ビル7F

TEL 03-6206-1911 (代)

FAX 03-3507-4300

E-mail info@afs.or.jp